

# 令和元年度事業報告

社会福祉法人 愛 隣 園

# 令和元年度 法人事業報告書

## 1. 法人の基本理念

「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」

聖書 ルカによる福音書第 10 章 27 節

## 2. 総括

本年度は、従来の施設中心の経営から法人単位の経営への転換を目指し、法人本部に職員 4 名からなる本部事務局を設置し、まずは法人業務に加えて人事・労務関係業務の集約化を図ったところである。その後、次年度には会計部門を本部に集約化する計画で、2 月には新たに職員 1 名を増員するなど、法人本部機能の強化に向けた取り組みを鋭意進めてきた結果、法人単位での経営を可能にする条件整備は整いつつあるものと認識している。

このように本部事務局の機能強化を図る一方、高齢部門においては人事戦略プロジェクトチームを設置し、ガリラヤ荘、ガリラヤ久米の組織体制の抜本的見直しを行った中で、部課長制に基づきそれぞれの役職の責任と役割を明確化し、業務が効率的に遂行できる組織体制の構築を進めたところでもある。

次年度は、これらの取り組みを踏まえ、社会福祉法人を取り巻く謂わば「地殻変動」と言っても過言ではないような経営環境の変化に十分対応できる経営力を身に着けていきたいと考えている。

また一方、愛隣こども園、ガリラヤ荘、ガリラヤ久米の 3 事業所については、本年度の決算状況を見ると、当期資金収支差額が愛隣こども園 7,933 千円、ガリラヤ荘 39,196 千円、ガリラヤ久米 24,848 千円、法人全体では 63,034 千円となっており、概ね順調に推移したものと考えている。

愛隣こども園にあっては、質の高い保育内容の維持に努める一方、地域での子育てを支える拠点としても重要な役割を果たしており、また、ガリラヤ荘では、例年に比べると離職が多かったという面はあるものの、トータルケアやノーリフティングケアの実践などによるサービスの質の向上に努めるとともに、ガリラヤ久米では、オープン 3 年目ということで仕上げの年と位置付け職員一丸となって様々な取り組みを行ってきた結果、一時のような離職者も大幅に減り、安定した経営状況となっている。

今後は、先が見通せない混迷を深める時代状況の中にあって現在の経営状況を維持し、さらに発展させていくことが当法人の経営安定化にとっては必須条件であるが、そのためには、人材の確保、経営基盤の強化などの様々な経営課題に職員一人一人が叡智を結集して積極果敢に取り組んでいかなければならないと考えている。

## 3. 事業の概要

### 【沿革】

- ・1930 年（昭和 5 年） 松山市神田町に三津キリスト教会附属「愛隣保育園」開設
- ・1967 年（昭和 42 年）8 月 社会福祉法人「愛隣保育園」の法人認可
- ・1972 年（昭和 47 年）11 月 社会福祉法人「愛隣園」と名称変更
- ・1973 年（昭和 48 年）4 月 現東温市松瀬川に特別養護老人ホーム「ガリラヤ荘」（定員 50 名）開設
- ・1977 年（昭和 52 年）4 月 特別養護老人ホーム「ガリラヤ荘」増設（定員 80 名）
- ・2000 年（平成 12 年）4 月 「ガリラヤ荘」介護老人福祉施設の指定
- ・2008 年（平成 20 年）11 月 「ガリラヤ荘」東温市南方 1766 番地 1 へ新築移転
- ・2016 年（平成 28 年）4 月 「愛隣保育園」松山市三津三丁目 6 番 30 号へ新築移転
- ・2017 年（平成 29 年）4 月 「愛隣保育園」幼保連携型認定こども園移行により「愛隣こども園」に名称変更
- ・2017 年（平成 29 年）4 月 高齢者総合福祉施設「ガリラヤ久米」開設（松山市久米窪田町）

【事業】

事業所名	施設長	所在地	定員
愛隣こども園	羽 藤 美知子	松山市三津三丁目6番30号	66名
ガリラヤ荘	丹 紀 代	東温市南方1766-1	特養80名、ショート20名、デイ35名他
ガリラヤ久米	高 橋 雅 志	松山市久米窪田町667-1	特養29名、ショート10名、GH18名 有料35名、デイ18名他

4. 理事会・評議員会

(1) 役員・評議員

役 員		評 議 員	
理事長	佐々木 信 也	評議員	田 坂 信 一
理 事	佐々木 美 穂	評議員	二 宮 秀 生
理 事	長谷川 寿	評議員	別 府 頼 房
理 事	丹 紀 代	評議員	野 村 忠 秀
理 事	羽 藤 美知子	評議員	乗 松 健 二
理 事	高 橋 雅 志	評議員	杉 野 典 子
監 事	和 田 政 也	評議員	欠 員
監 事	川 中 国 和		

(2) 理事会・評議員会・監事監査等の開催状況

月 日	事業名	内 容	参加人数	備 考
6月4日	監事監査	法人及び施設会計の決算監査	監事2名 (欠席0名)	愛隣こども園 ガリラヤ久米 ガリラヤ荘 本 部
6月7日	理事会	2019年度(令和元年度) 第1回 理事会 開催 1. 平成30年度事業報告について 2. 平成30年度計算書類(決算報告)について 3. 平成30年度監査報告について 4. 愛隣こども園運営規程の改正について 5. 今後の事務処理体制について 6. 組織及び人事管理の見直しについて 7. 外国人留学生に対する奨学金について 8. 準職員の退職金の取り扱いについて 9. 評議員選任委員の選任について 10. 評議員選任及び役員改選に伴う候補者の推薦について 11. 定時評議員会の日程及び議案について ※ 報告事項	理事6名 (欠席0名) 監事2名 (欠席0名)	ガリラヤ久米
6月10日	評議員選任委員会	2019年度(令和元年度) 第1回 評議員選任委員会 開催 1. 評議員の選任について	選任委員5名 (欠席1名)	ガリラヤ久米
6月25日	評議員会	2019年度(令和元年度) 定時評議員会 開催 1. 平成30年度計算書類等(決算報告)の承認について 2. 理事・監事の選任について ※ 報告事項 ①平成30年度事業報告について ②平成30年度監事監査報告について ③評議員選任委員の選任について ④新評議員の選任について 他	評議員7名 (欠席0名) 事務局 理事6名 監事2名	東京第一 ホテル松山

6月25日	理事会	2019年度（令和元年度）第2回理事会開催 1. 理事長選任について 2. 就業規則の改正について	理事6名 （欠席0名） 監事2名 （欠席0名）	東京第一 ホテル松山
9月27日	理事会	2019年度（令和元年度）第3回理事会開催 1. 諸規程の改正について 2. 介護職員等特定処遇改善加算の実施について 3. 技能実習生の受入について ※ 報告事項	理事6名 （欠席0名） 監事2名 （欠席1名）	ガリラヤ久米
12月3日	理事会	2019年度（令和元年度）第4回理事会開催 1. 令和元年度第1次補正予算（案）について 2. 慶弔規程について 3. 第2回評議員会の日程及び議案について	理事6名 （欠席0名） 監事2名 （欠席0名）	ガリラヤ久米
12月16日	評議員会	2019年度（令和元年度）第2回評議員会開催 1. 令和元年度第1次補正予算（案）について ※ 報告事項	評議員7名 （欠席1名） 理事6名 （欠席0名） 監事2名 （欠席0名）	ガリラヤ久米
3月19日	理事会	2019年度（令和元年度）第5回理事会開催 1. 令和元年度第2次補正予算（案）について 2. 令和2年度理事長報酬（案） 3. 令和2年度事業計画（案）について 4. 令和2年度当初予算（案）について 5. 社会福祉法人愛隣園組織規程（案）の制定について 6. 短時間正職員制度の導入について 7. 年次有給休暇の取り扱いについて 8. 組織改正等に伴う給与規程の一部見直しについて 9. 業務管理体制整備規程（案）の制定について 10. 旅費規程の一部改正について 11. 重要な職員の人事案件について 12. 運営規定の一部改正について 13. 定時評議員会の日程及び議案について ※ 報告事項	理事6名 （欠席0名） 監事2名 （欠席0名）	ガリラヤ久米
3月25日	評議員会	2019年度（令和元年度）第3回評議員会開催 1. 令和元年度第2次補正予算（案）について 2. 令和2年度理事長報酬（案）について 3. 令和2年度事業計画（案）について 4. 令和2年度当初予算（案）について ※ 報告事項	評議員7名 （欠席1名） 理事6名 （欠席0名） 監事2名 （欠席0名）	ガリラヤ久米

## 5. その他の会議

### (1) 経営会議（理事長、理事、各施設長、本部事務局長、次長 7名）

月日	回	議事内容	備考
6月3日	第1回	1. 平成30年度事業報告及び決算について 2. 今後の事務体制について 3. 組織及び人事管理の見直しについて 4. 外国人労働者の受け入れ策について 5. 準職員の退職金の取り扱いについて 6. 役員改選について 7. ガリラヤ久米浄化槽設置について 8. 令和元年度第1回理事会及び評議員会の開催について	ガリラヤ久米

8月27日	第2回	1. 技能実習生の受け入れについて 2. 2019年度最低賃金引上げについて 3. 介護職員等特定処遇改善加算について 4. 雇用契約について 5. 文書処理簿の取り扱いについて 6. 会計部門の本部事務局への集約について 7. 愛隣こども園の無償化への対応について 8. 理事会の日程について	ガリラヤ久米
11月5日	第3回	1. 上半期の収支状況について 2. 補正予算について 3. 法人本部機能強化に向けた取り組み方向について 4. キャリアパスの構築について 5. 中期経営計画の策定について 6. BCPの策定について 7. 就業規則の一部改正について 8. 慶弔規程の策定について 9. 冬季賞与について 10. 理事会の日程について	ガリラヤ久米
2月7日	第4回	1. 諸規程の制定及び改正について 2. 今後のスケジュール	ガリラヤ久米
3月3日	第5回	1. 令和元年度第2次補正予算(案)について 2. 令和2年度事業計画(案)について 3. 令和2年度当初予算(案)について 4. 年次有給休暇の取り扱いについて 5. 給与規程の見直しについて 6. 令和2年度事務処理体制について 7. 令和2年度人事案件について	ガリラヤ久米

(2) 人事戦略プロジェクトチーム(長谷川局長、高橋施設長、小原部長、二神部長、渡邊部長、砂子次長)

月 日	回	議事内容	備 考
7月30日	第1回	1. プロジェクトチーム設置の趣旨 2. 今後の議論の進め方について 3. その他	ガリラヤ久米
8月27日	第2回	1. 組織について 2. その他	ガリラヤ久米
9月24日	第3回	1. 役職と組織図について 2. その他	ガリラヤ久米
10月24日	第4回	1. 法人の組織図について 2. その他	ガリラヤ久米
11月18日	第5回	1. 法人の組織図について 2. その他	ガリラヤ久米
12月11日	第6回	1. 法人の組織図について 2. 短時間正職員の制度化について 3. 年次有給休暇について 4. その他	ガリラヤ久米
1月22日	第7回	1. 法人の組織体制について 2. 短時間正職員就業規則(案)について 3. 旅費規程改正(案)について 4. 年次有給休暇の取り扱いについて 5. 外国人の雇用について 6. 令和2年度の取り組み方針について 7. その他	ガリラヤ久米

## (3) 事務局会議（事務局長、事務部長等法人内事務職員8名）

月 日	回	議事内容	備 考
5月28日	第1回	1. 事務職員アンケート調査結果について 2. 令和元年度の事務処理体制について	ガリラヤ久米
9月19日	第2回	1. 事務処理の進め方等について 2. 意見交換	ガリラヤ久米
3月16日	第3回	1. 会計業務打合せ会 2. 意見交換	ガリラヤ久米

## 6. 指導監査の状況

- (1) 法人本部 令和元年10月8日（火）愛媛県  
(2) 愛隣こども園 令和元年7月16日（火）松山市  
(3) ガリラヤ久米 令和元年11月13日（水）松山市

## 7. 事業収支及び資産の状況

## (1) 収支の推移

単位：千円

区 分	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業活動収入	993,369	1,136,585	1,154,821
事業活動支出	945,847	990,881	1,035,336
事業活動資金収支差額	47,521	145,704	119,484
施設整備等収入	1,253,021	15,018	16,380
施設整備等支出	1,162,165	46,059	55,669
施設整備等資金収支差額	90,856	△31,041	△39,289
その他の活動収入	21,495	17,953	18,872
その他の活動支出	29,008	45,347	36,033
その他の活動資金収支差額	△7,514	△27,394	△17,161
当期資金収支差額	130,864	87,270	63,034
前期末支払資金残高	341,229	472,093	559,362
当期末支払資金残高	472,093	559,363	622,397

## (2) 資産・負債の状況

単位：千円

区 分	平成29年度	平成30年度	平成31年度
流動資産	526,576	616,053	706,137
固定資産	2,414,995	2,342,018	2,262,477
資産合計	2,941,571	2,958,072	2,968,614
流動負債	154,604	171,165	224,802
固定負債	1,876,381	1,838,539	1,768,261
負債合計	2,030,985	2,009,705	1,993,063
純資産	910,586	948,367	975,551

## (3) 法人借入金状況

単位：千円

事業所	借入先	利率	期首残高	当期借入額	当期償還額	期末残高
愛隣こども園	福祉医療機構	0.75	137,600	0	5,160	132,440
	伊予銀行	0.65	30,910	0	1,140	29,770
	小 計		168,510	0	6,300	162,210
ガリラヤ荘	福祉医療機構	1.80	52,600	0	5,260	47,340
	伊予銀行	0.40	489,224	0	24,768	464,456
	愛媛銀行	0.40	70,130	0	3,540	66,590
	小 計		611,954	0	33,568	578,386
ガリラヤ久米 (有料含む)	福祉医療機構	0.95	466,000	0	1,708	464,292
	愛媛銀行	0.45	600,000	0	0	600,000
	小 計		1,066,000	0	1,708	1,064,292
合 計			1,846,464	0	41,576	1,804,888

## 8. 利用者の状況

施設・事業名		定員	年間延べ利用者数	1日平均利用者数
愛隣こども園		66	1,028	85.6
ガリラヤ荘	特養入所	80	28,162	76.9
	短期入所(ショートステイ)	20	5,884	16.1
	通所介護(デイサービス)	35	8,401	27.1
ガリラヤ久米	特養入所	29	10,290	28.1
	短期入所(ショートステイ)	10	2,990	8.2
	通所介護(デイサービス)	15	3,323	10.6
	グループホーム	18	6,221	17.0
	介護付有料老人ホーム	35	11,335	31.0

## 9. 職員

### ①配置状況

平成31年3月31日現在

区分/事業所	愛隣こども園	ガリラヤ荘	ガリラヤ久米	本部	計
正規職員	16名	69名	59名	0名	144名
準職員	1名	46名	19名	2名	69名
臨時/パート職員	9名	1名	1名	0名	9名
合計	25名	115名	78名	2名	222名

### ②離職率

(1年間の退職者数を年度当初の在籍者数で割ったもの)

区分/事業所	平成31年度当初	退職者	平成31年度離職率	平成30年度離職率
愛隣こども園	25名	0名	0.00%	0.00%
ガリラヤ荘	122名	17名	13.93%	9.67%
ガリラヤ久米	80名	12名	15.00%	23.28%
本部	4名	0名	0.00%	0.00%
法人合計	231名	29名	12.55%	14.10%

### ③職員データ

## 1. 保育・教育の目的

キリスト教主義の保育・教育理念、方針、目標に基づき、松山市より委託された乳幼児を下記の法において保育・教育をおこなった。

記: 児童福祉法第39条を目的とし、児童福祉施設最低基準  
第5章第32条より第36条を遵守した。

理念 多くの賜物を与えられて誕生した子どもたちを、ひとりひとり大切にみつめつつ保育及び教育することで他者と共に生きることのできる子どもに育てる。

「自分を愛するように あなたの隣人を愛しなさい」(聖書のことばから)

方針 1「地域の人々と共に」 過疎化が進み高齢者が多くなりました。地域の人々と共に交流し、保護者の家庭を含めて共生する使命があります。

2「基本的習慣を身につけ養う」 他者と心をつなぐ道です。それは他者の人格を尊び、人権を大切にすることを育てることであります。

目標 1. 基本的な生活習慣を身につけよう。  
2. 他の子どもとともに生きる子どもになろう。  
3. 自分を豊かに表現できる子どもになろう。  
4. 主体的に活動できる子どもになろう。

## 2. 振り返り

(1) 移転して4年目、幼保連携型認定こども園へ移行し、3年目を迎えた2019年度も園児の確保は十分であった。地域の子どもが減少しているのにも関わらず、入園希望者も多く希望が叶わない方が増えている。見学者も多く、園の環境や職員の対応をみて、当園を希望してくださっている方も多い。

2019年度は定員66名に対して最終89名で終えたが、利用定員を超えて子どもを受け入れる場合一定の条件の下、給付費の減算措置が適用される。2019年度は、1号、2・3号どちらも超過している。一定の条件を念頭に置いて、特例期間内で定員超過が抑えられるようにしたいと考えている。

参考 ▶1号の特例期間…2020年度の定員超過は減算対象となる。

▶2・3号の特例期間…2022年度の定員超過は減算対象となる。

(2) 2019年度は事務員が産休・育休にはいり、5月～12月の間補充しないで対応したが、園長、兼務の保育教諭で対応することができた。他の職員もそれぞれが補い合いながらできたのではないかと感じている。退職者がいなかったということも嬉しいことであり、働きやすい職場づくりや働き方改革の観点からも評価に値している。

2020年度に保育教諭1名が産休・育休に入るが、その補充も兼ね保育教諭1名の確保もできた。ただ、養成校に求人を出してもなかなか応募してもらえず、確保が困難なのは変わらず課題である。

(3) 2019年度の 職員の状況は、主婦層と独身者のバランス、年齢の幅、正規と非正規のバランス等良かったと思う。中堅職員も増えてきて園の理念や方針が自分のものになってきている職員の層が厚くなってきた。ただ、その職員たちが経験年数の浅い職員に伝えたり、指導したりということが十分にできないことが課題である。

(4) 保育・教育内容は日々の積み重ねを丁寧に行うと同時に行事等も保護者、地域の方々と一緒に行うことができた。様々な経験をできるだけ職員が子どもたちに指導したり、一緒にするということが基本に行ってきたが、運動面に置いて限界を感じてきた。より良い体験を子どもたちにさせたいという思いから2020年度より体操教室を外部講師にお願いすることにした。

(5) 2月中旬頃から新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、行事の中止、自粛、制限、縮小等の対応を行う。消毒や清掃、検温等は一年を通して行なっていること、職員のマスク着用はインフルエンザ、ノロウイルスの予防のため早くから徹底しており大きな混乱もなく年度末を迎えることができた。

## 3. 児童数

(別記1)

定員 66名 (内1号認定 6名) 現数 89名

(0歳児 10名、1～2歳児 31名、3歳児 18名、4歳以上児 30名)



4. 職員数 (別記2)

園長 1名、保育教諭等 20名(内1名事務兼務)、調理員 3名、事務 1名

5. 保育・教育活動 (別記3)

6. 特別事業の実施状況 (別記4)

- ① 一時預かり事業
- ② 延長保育事業
- ③ 地域子育て支援拠点事業
- ④ 障害児保育事業

7. その他 (別記5)

- ① 食育・アレルギー食について
- ② 感染症・ケガ等について
- ③ 苦情及び苦情解決について
- ④ 研修参加状況について

(別記1) 児童数

2020年3月31日現在

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児		4歳児		5歳児		合計		総合計	備考
	3号	3号	3・2号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	3・2号	1号		
4月	5	14	16	15	3	13	5	11	1	74	9	83	
5月	5	14	16	15	3	14	4	11	1	75	8	83	
6月	6	14	16	15	3	14	4	11	1	76	8	84	0歳児1名 入園
7月	6	14	16	15	3	14	4	11	1	76	8	84	
8月	6	14	16	15	3	14	4	11	1	76	8	84	
9月	7	14	16	15	3	14	4	11	1	77	8	85	0歳児1名 入園
10月	7	14	16	15	3	14	4	11	1	77	8	85	
11月	9	14	16	15	3	14	4	11	1	79	8	87	0歳児2名 入園
12月	10	14	16	15	3	14	4	11	1	80	8	88	0歳児1名 入園
1月	10	14	16	15	3	14	4	11	1	80	8	88	
2月	10	14	16	15	3	14	4	11	1	80	8	88	
3月	10	15	16	15	3	14	4	11	1	81	8	89	1歳児1名 入園
計	91	169	192	180	36	167	49	132	12	931	97	1028	

(別記2) 職員数

2020年3月31日現在

月	園長	保育教諭等			調理員		事務員他	合計		
	正規	正規	臨時	パート	正規	臨時	臨時	正規	臨時	パート
4月	1	20			3		1 (5月24日～ 12月31日 産休・育休)	25		
11月		12	6	2	2	1		15	8	2
12月	1	20			3		1 (5月24日～ 12月31日 産休・育休)	25		
3月		13	5	2	2	1		16	7	2

(別記3) 行事的保育・教育活動

月 日	曜日	行 事 的 保 育 ・ 教 育 活 動 他
4月1日	月	入園式 保護者同伴。式は三津教会 森分望 牧師の祈りにより始まる。理事長・園長挨拶 各組担任による園児の紹介、子どもたちの歌、職員の人形劇で終え、各クラスでの 集まり、おやつを食して11:30降園する。保護者会(役員選出・年間計画) 午後から保育の必要な園児は、対応する。
4月16日	火	歯科検診 医師 道田 満代氏 10:00~12:00
4月25日	木	内科検診 医師 井上 哲志氏 15:00~16:30
5月18日	土	歓迎遠足 北条文化の森公園 9:30~13:15 家族参加者:116名
6月1日	土	保育参観日 全クラス 9:30~12:00 家族参加者:72名
6月3日 ↳	月	} 松山東雲大学2年生1名 保育実習
6月15日	土	
6月20日	木	花の日 三津教会で礼拝を守り、子どもたちが、日頃お世話になっている公共施設や ご近所に感謝の気持ちとともに花を届ける。
7月8日 ↳	月	} 聖カタリナ短期大学2年生1名 保育実習
7月20日	土	
7月16日	火	松山市指導監査
7月23日 ↳	火	} 興居島中学校2年生1名 職場体験
7月26日	金	
7月27日	土	年長児興居島海水浴 (くま組12名 引率者:職員…8名 保護会役員…4名)
8月2日	金	稚魚放流活動 (財)日本釣振興会主催 10:00~11:00 くま組(5歳児) 西中等教育学校職場体験
8月7日	水	交通安全七夕作戦キャンペーン 松山西警察署 10:00~ くま組(5歳児)・きりん組(4歳児)
9月14日	土	敬老参観日 <プログラム> 1. 子どもたちのハンドベル奏・うた 2. 職員の劇 3. フラメンコ 4. 茶話会 家族・地域等参加者:約100名
9月30日 ↳	月	} 三津浜中学校2年生職場体験 2名来園
10月1日	火	

月日	曜日	行事的保育・教育活動 他
10月3日 ↓	木	人間環境大学小児看護学実習 3年生 5名来園
10月4日	金	
10月12日	土	地域わくわく交流会 10:00～ くま組(5歳児) きりん組(4歳児)参加
10月26日	土	運動会 大可賀公園で保護者、祖父母、地域の方と行う。9:00～12:30 家族・地域等参加者:約300名
10月31日	木	アンパンマントロッコ列車遠足 くま組(5歳児)参加…他園と一緒に波方公園へ 他のクラス中須賀公園へ
11月5日 ↓	火	聖カタリナ短期大学1年生3名 保育実習
11月16日	土	
11月6日	水	防災紙芝居 10:00～ 女性防火クラブ
11月7日	木	内科検診 医師 井上 哲志氏 15:00～16:30
11月8日	金	芋ほり 他園と一緒に桑原にある芋畑で芋ほりを経験する
11月13日	水	秋の楽しいおもちゃランド(三津浜小学校) 9:45～11:00 くま組(5歳児)参加
11月14日 ↓	木	人間環境大学小児看護学実習 3年生 5名来園
11月15日	金	
11月16日	土	こども園ミニバザー(保護者会主催) 家族・地域等参加
11月20日	水	感謝祭 三津教会で森分牧師、教会員の方々と一緒に礼拝を守る。 家から持ち寄った果物・野菜をクラスに分かれてご近所や、公共施設に届ける。
11月22日	金	起震車体験 くま組(5歳児) きりん組(4歳児) うさぎ組(3歳児) 於:西消防署
11月26日	火	歯科検診 医師 道田 満代氏 10:00～12:00
12月2日	月	ウタエスタジオ 全園児、地域の親子
12月21日	土	クリスマス祝会 クリスマス礼拝と祝会を保護者やその家族とともに行う。10:00～11:30 家族参加者:155名
1月11日	土	もちつき インフルエンザA型の流行により中止。後日子どもと職員のみで楽しむ。 (1月29日)
1月23日 ↓	木	人間環境大学小児看護学実習 3年生 3名来園
1月24日	金	
2月29日	土	お別れ遠足 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止
3月21日	土	遊戯会、卒園式 9:15～12:45 家族参加者:167名 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため人数制限、時間短縮で行う。 遊戯会後在園児は保護者と降園する。卒園式は、卒園児、その保護者、職員で行う。

月日	曜日	行事的保育・教育活動 他
3月26日	木	新入園児の面接 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため個人面接に変更
3月27日	金	なごみの会との交流 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止
3月30日	月	高齢者施設‘愛・家族’との交流 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止
12月 ～ 3月		西中等教育学校ボランティアの受け入れ 土曜日と冬休み9回実施。インフルエンザ流行時と新型コロナウイルス感染症拡大予防のため各1回ずつ中止する。

※ 誕生会 … 毎月1回 避難訓練 … 毎月1回(総合訓練年2回) 給食弁当… 毎月1回 身体測定… 毎月1回

#### (別記4) 特別事業の実施状況

- ① 一時預かり事業 … 一時的に家庭での保育が困難となった場合や、育児疲れの負担を軽減するため一時的に預かることで、安心して子育てができる環境を整備し、児童福祉の向上を図ることを目的として行う。

一時預かり保育事業延人数 (月～金曜日 8:30～17:00)

月	実人数	延人数
4	24	132
5	29	190
6	31	199
7	33	225
8	30	168
9	36	191
10	41	200
11	44	214
12	39	183
1	38	187
2	38	186
3	36	158
2019年度合計	419	2,233
参考2018年度合計	424	2,477

- ② 延長保育事業 … 就労形態の多様化に伴う延長保育の需要に対応するため行う。

延長保育事業延人数 (月～金曜日 18:00～19:00 の利用者)

月	未満児	3歳児	4歳以上児	合計
4	16	14	44	74
5	36	22	58	116
6	26	18	48	92
7	41	20	38	99
8	42	7	26	75
9	49	21	39	109
10	55	18	48	121
11	51	19	44	114
12	56	16	61	133
1	41	15	35	91
2	42	19	43	104
3	60	10	41	111
計	333	290	827	1,450
参考 2018年度計	515	199	525	1,239

- ③ 地域子育て支援拠点事業 …… 主に0歳児から3歳児の未就園児とその保護者また、妊娠中の母親に対して、子育て親子の交流等の提供と促進、子育てに関する相談援助等を基本として活動を行う。

1 活動日時 月曜日～金曜日 10:00～15:00

2 活動内容

・地域交流室(センタールーム)

の開放 …… 園内の地域交流室に様々な玩具や、絵本をそろえ自由に遊べるように開放している。

・園庭開放 …… 天気の良い日に、園の広場や屋上を開放している。

・育児講座 …… 月に一回程度、製作や遠足など育児や生活が楽しくなるような内容や保護者の関心のあることを取り入れる。また、外部の講師を招く。

・育児相談 …… 電話、来園等で育児の悩みや不安、困っている事などの相談を受けている。特に、支援センターについての利用の仕方や活動内容について等 情報提供を行うことが多かった。

・絵本の貸出 …… 地域交流室に置いている、絵本や育児・離乳食等の本の貸出を行う。

3 支援センターの利用者人数

〈 育児講座 〉

月日	活動内容	参加者		
		参加組	子ども	保護者
4月23日(火)	おもちゃ作り	7	7	7
5月15日(水)	公園あそび	0	0	0
6月25日(火)	運動あそび	8	12	8
7月23日(火)	うちわ作り	6	6	6
8月8日(木)	絵具あそび	9	10	9
9月19日(木)	メッセージボード作り	10	12	10
10月31日(木)	アンパントロッコ列車遠足	11	13	13
11月19日(火)	公園あそび	3	3	3
12月2日(月)	歌と絵のライブ	10	12	10
1月21日(火)	カレンダー作り	9	10	9
2月12日(水)	ひなまつり制作	5	6	5
3月24日(火)	遠足 → 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
合計		78	91	80

〈 センタールーム ・ 園庭開放 ・ 絵本貸出 〉

月	利用者			絵本貸出
	家庭数	子ども	保護者	
4	45	48	45	1冊
5	54	57	56	3冊
6	60	66	63	0冊
7	74	82	76	0冊
8	65	75	67	0冊
9	69	83	71	0冊
10	91	99	92	0冊
11	80	87	82	0冊
12	73	85	75	1冊
1	50	55	50	0冊
2	58	67	58	0冊
3	0	0	0	0冊
計	719	804	735	5冊

< 園行事 >

月日	行事	活動内容	参加者		
			参加組	子ども	保護者
10月26日(土)	音の広場(運動会)	・未就園児の競技に参加する。	32	40	32
11月16日(土)	こども園バザー	・園内で行われたバザーに参加する。	29	30	32
計			61	70	64

< 給食試食会 >

月日	給食メニュー	参加者		
		参加組	子ども	保護者
6月20日(木)	・ご飯 ・マーボー豆腐 ・キャベツのお浸し ・りんご	9	11	9
7月25日(木)	・ご飯 ・鶏肉と玉ねぎのケチャップ煮 ・グリーンフレンチサラダ ・枝豆	8	9	8
8月29日(木)	・ご飯 ・ちくわの磯辺揚げ ・きんぴら ・なし	7	7	7
9月26日(木)	・ご飯 ・魚のカレームニエル ・フレンチサラダ ・きのこスープ	8	9	9
11月28日(木)	・ご飯 ・鶏肉のマーマレード ・ブロッコリーのサラダ ・コンソメスープ	8	9	8
1月16日(木)	・ご飯 ・鮭のフライ ・フレンチサラダ ・バナナ	6	7	6
2月6日(木)	・ご飯 ・れんこん入りハンバーグ ・青菜としめじのおひたし ・はるさめスープ	8	8	7
計		54	60	54

4 相談件数

月	相談件数				相談内容
	発達・発育	育児不安	情報提供	その他	
4	0	3	12	0	・一時預かりについて(10件) ・支援センターについて(2件) ・食事について ・オムツについて ・コップの使い方について
5	1	0	5	0	・一時預かりについて(4件) ・食事について ・園の見学について
6	0	1	10	0	・一時預かりについて(6件) ・当園の見学希望(3件) ・食事について ・三津周辺の保育園、幼稚園施設について(2件)
7	1	0	5	0	・一時預かりについて(3件) ・当園の見学希望 ・入園について ・トイレトレーニングについて
8	0	0	5	0	・一時預かりについて(4件) ・当園の見学希望(1件)
9	0	0	5	0	・一時預かりについて(4件) ・三津周辺の保育園、幼稚園施設について
10	1	0	3	0	・当園の見学希望(2件) ・支援センターについて ・発達について
11	0	0	4	0	・一時預かりについて(2件) ・当園の見学希望 ・支援センターについて
12	1	0	3	0	・一時預かりについて ・入園について ・支援センターについて ・言語について
1	0	0	5	0	・一時預かりについて(5件)
2	0	0	3	0	・一時預かりについて(3件)
3	0	0	2	0	・当園の見学について ・一時預かりについて
合計	4	4	62	0	計 70件

※2020年3月より新型コロナウイルス感染拡大予防のため、松山市より地域子育て支援拠点事業の全活動を休止するよう指示が出たため電話での相談のみ行う。

④ 障害児保育事業 … 障害児の保育を推進し、障害児に対する適切な処遇の確保を図る。

対象児：5歳児3名 4歳児2名 3歳児1名 2歳児2名 1歳児1名 0歳児1名 計10名

(松山市障害児等療育支援事業利用について)

1 実施した支援等の内容

施設支援一般指導事業

- ・成長や発達がゆるやかな子、配慮が必要な子、病気や障がいがある子への関わり方や療育等の相談
- ・配慮が必要な子に対して、また、クラス全体に対して、クラス運営の仕方についての相談
- ・保護者への伝え方や支援について相談する。

2 利用施設

- ・社会福祉法人 福角会 くるみ園
- ・愛媛県立子ども療育センター
- ・八坂小学校内 たんぽぽ教室

3 施設支援実施内容

回	月日	実施内容	利用施設
1	5月28日	主に3・4・5歳児の活動の様子を見てもらう。年間を通じた保育・教育や行事の進め方や集団への働きかけ方等のアドバイスをいただく。	くるみ園
2	10月18日	4・5歳児クラスの活動を見てもらう。運動会への取り組みの様子を見てもらい、支援の方法やことばのかけ方などの働きかけ方を知る。	くるみ園
3	12月5日	0・1・2歳児クラスの様子を見てもらう。運動遊びをする様子を見てもらい体の使い方や支援の方法などのアドバイスをいただく。	くるみ園

※2019年度は、各クラスの活動を見てもらい、その中での保育教諭等の働きかけ方や個々に応じた支援方法を知ることができた。特に今年度は子どもに対しての働きかけ方に加えて職員同士の保育・教育の中での関わり方や保育・教育の振り返りができているかなど、話にあがるが多かった。

活動内容は、運動遊びから取り入れるものが多く、伝え方もわかりやすくすぐ実践することができた。

また今年度は年中児を対象とした松山市の5歳児検診を受け、12月からたんぽぽ教室を利用するケースに繋がった。年長児の教育相談の1年前に検診で相談できるシステムはとても良いことであると感じる。その子に合った支援に繋がるよう、保護者への働きかけを今後も日頃から丁寧に行いたい。

教育相談(松山市教育委員会)の利用について

年長児3名 松山市教育相談会に申請する。(第1回…1名 第4回…1名 第5回…1名)

- ・保護者の意向を聞きつつも園生活の様子を伝え、子どもたちにとってより良い小学校生活を送れるよう話し合う。
- ・教育相談では小学校への移行がスムーズにできるよう、保護者、園長、特別支援教育担当教職員と話をする。また、発達検査等の実施をする。
- ・入学を希望する小学校の学年主任、予定される担当職員と引き継ぎを丁寧に行う。(こども園にて)

小学校での支援

※通級を利用…1名

※通常クラスで様子を見る…1名

※教育委員会の判断では支援学級を利用するのが望ましいと言われたが、保護者の意向で通常クラスを利用し様子を見る…1名

## (別記5) その他

### ① 食育活動・アレルギー食について

#### ※食育の取り組み

・年齢別に年間食育計画を立て、園児の健やかな食習慣を培うようにした。  
未満児は食具を見直したり、姿勢を保てるように椅子など検討することにより、自分で意欲的に食べる様子が見られた。また初めての試みとして冬野菜を秋に種まきをし収穫することができ子どもたちは実際に野菜の育つ様子を見ることができた。

月	活 動 内 容
4・5月	いちごの収穫 空豆の皮むき 野菜の苗を購入。苗植えをし、お世話をする。(茄子・オクラ・胡瓜・トマト・スイカ・さつまい) おひつ ・ 輪っかスプーン、フォーク ・ トレイを購入し使用。(0~2歳児)
6月	とうもろこしの皮むき
7・8月	野菜の収穫 ・ かき氷 ・ すいか割り ・ 綿菓子
11月	園の畑の芋掘り ・ ほうれん草、大根、人参の種を植える。 芋掘り(4、5歳児) ・ 看護実習生と一緒にクッキーの型抜き(4、5歳児)
12月	クリスマス立食パーティー(バイキング) おでん(園で収穫した大根を使用) 園の畑の野菜収穫…ほうれん草のお浸し ・ 大根葉のおにぎり
1月	餅つき(インフルエンザ流行の為、平日に延期して行う) 園の畑の野菜収穫…大根、人参の味噌汁 ・ 大根葉の漬物  ※たこ焼き、ポップコーンは子どもたちの目の前で職員が作ってできたてを提供する。  ※月に一度、給食弁当の日を設け、各家庭からお弁当箱を持参し、給食を詰める。 以上児は自分たちで、給食をお弁当箱に詰める。

#### ※2019年度 アレルギー児への対応

	年齢・性別	アレルギー	除去の状況	解除
1	0歳 男児	卵	完全除去	
2	0歳 男児	卵	卵そのものは×(マヨネーズ・アイスなども×) つなぎはOK(練り製品・焼き菓子等)	
3	0歳 男児	卵・乳	完全除去 調理器具・食器等全て別途 6月より家庭で試したものののみ園で出す	
4	1歳 女児	卵・乳	完全除去	
5	1歳 女児	乳	乳そのものは×(牛乳・生クリーム・ヨーグルト・アイス・マヨネーズ・ホワイトソースなど) バター・焼き菓子・つなぎ などはOK	
6	2歳 男児	卵・乳・魚	完全除去 その他(バナナ・キウイ・パイナップル・ゴマ・パン・アレアヨなど) 調理器具・食器等全て別途	6/22…牛乳 9/5…キウイ・バナナ・ゴマ
7	2歳 男児	卵	生卵・カスタード・アイスなど× つなぎとマヨネーズはOK その他(烏賊・蛸・貝類・山芋・柿・ソバ・ナッツ・魚卵など×)	4/16…烏賊・蛸・貝類・山芋・ソバ・ナッツ・魚卵
8	3歳 女児	卵	卵そのものは×(マヨネーズ・アイスなども×) つなぎはOK(練り製品・焼き菓子等)	
		乳	乳そのものは×(アイス・ヨーグルト・乳酸菌飲料等) つなぎはOK(バター・焼き菓子等)	
9	5歳 男児	卵	卵そのものは×(マヨネーズ・卵プリン・カスタード・アイス・親子丼など) つなぎはOK(練り製品・焼き菓子等)	5/16…卵

参考 2018年度 アレルギー児 8名

・入園の面接時に食事の様子について担任、調理員が確認する。食物アレルギーがある場合は、必ず医師の証明を提出してもらう。(アレルギー除去食に関する連絡書、除去食指導表) 解除時も解除の連絡書等を提出してもらう。定期的(3ヶ月後、6ヶ月後等)に受診し、連絡書の再評価をしてもらう。決して保護者や園の判断で進めないようにする。また、原因食品を摂取した場合に内服薬を飲む必要がある子は、病院より内服薬を預かり保管し万が一に備えている。アレルギーに関することは、日々のミーティングで職員に周知徹底する。



②感染症・ケガ等について

感染症	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	参考 2018年度
インフルエンザA型										14			14	34
インフルエンザB型														0
感染性胃腸炎				1		1					1		3	2
流行性耳下腺炎							4	5	2	2			13	2
ヘルパンギーナ								1					1	0
溶連菌感染症			2						1				3	14
手足口病			1	6	2	1							10	45
RSウイルス					3	3							6	4
アデノウイルス	1		2	1	2				1		1		8	3
ヒトメタニューモウイルス	2											1	3	0
EBウイルス			1										1	0
流行性結膜炎				3									3	0
咽頭結膜炎					1								1	0
リンゴ病								2	10	2			14	0
その他													0	3
合計	3	0	6	11	8	5	4	8	14	18	2	1	80	107

※インフルエンザは、A型が流行するものの、年末年始が明けてからの前半に集中していた。  
その時のみで流行しなかったことは、手洗い・消毒・噴霧器等での予防の成果だと思われる。  
流行性耳下腺炎は3歳児を中心に流行した。また手足口病やリンゴ病は出席停止にはならない  
こともあり、一人でると広がる傾向がある。

こども園で手当てをし、保護者に報告したもの(ヒヤリハット報告書)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	参考2018年度
唇のケガ				1 0歳児1名			1 1歳児1名	1 1歳児1名		1 2歳児1名		4 0歳児2名 2歳児1名 3歳児1名	8	4
打ち身等	6 0歳児1名 2歳児2名 4歳児3名	8 0歳児2名 1歳児3名 2歳児3名	6 1歳児2名 2歳児1名 3歳児3名	10 1歳児1名 2歳児8名 3歳児1名	14 0歳児2名 1歳児3名 2歳児9名	4 0歳児2名 2歳児2名	8 1歳児5名 2歳児3名	8 0歳児1名 1歳児2名 2歳児5名	8 0歳児3名 2歳児4名 3歳児1名	6 0歳児1名 1歳児1名 2歳児3名 5歳児1名	12 0歳児2名 1歳児4名 2歳児2名 3歳児2名 5歳児2名	17 0歳児4名 1歳児6名 2歳児6名 3歳児1名	107	54
ひっかき	3 0歳児1名 1歳児1名 4歳児1名				1 0歳児1名	2 0歳児1名 3歳児1名		2 2歳児1名 3歳児1名	2 0歳児1名 3歳児1名	2 1歳児1名 3歳児1名		1 3歳児1名	13	13
かみつき	1 2歳児1名	2 0歳児1名 2歳児1名	2 2歳児2名	2 2歳児1名 3歳児1名		1 2歳児1名		1 3歳児1名	1 2歳児1名	2 1歳児1名 2歳児1名	3 1歳児1名 4歳児2名	4 0歳児2名 3歳児2名	19	14
すり傷等	3 2歳児1名 5歳児2名	2 3歳児1名 5歳児1名	9 2歳児8名 4歳児1名	1 5歳児1名		2 4歳児2名		2 1歳児1名 3歳児1名	1 3歳児1名		4 2歳児3名 3歳児1名	2 2歳児2名	26	12
つねる				1 3歳児1名								1 3歳児1名	2	1
指をつめる		1 3歳児1名	2 0歳児1名 5歳児1名		1 1歳児1名			1 2歳児1名				2 0歳児1名 5歳児1名	7	3
誤食		1 3歳児1名	1 0歳児1名			1 3歳児1名							3	2
棘がささる	1 3歳児1名												1	
誤薬		1 1歳児1名											1	
切り傷			1 2歳児1名			1 0歳児1名					2 2歳児1名		4	1
その他														3
合計	14	15	21	15	16	11	9	15	12	11	21	31	191	107

内病院を受診したものの6件(参考2018年度5件)

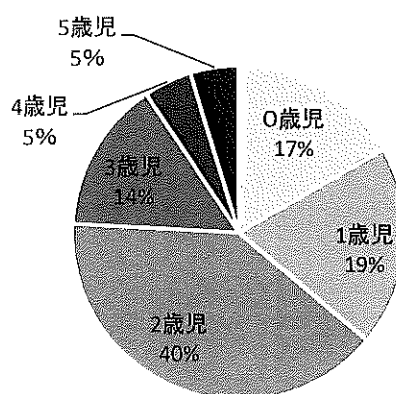
## 病院受診のケガ

- ▷額の打ち身…4歳児 給食後の食器の片付け時にランチルームの机の脚にぶつける。額の中央に大きなたんこぶができる。山下脳神経外科を受診、様子を見ることになるが、その後異常はなかった。
- ▷顎に擦過傷を伴う打ち身…2歳児 園庭で遊んでいた時に転倒し、泥んこコーナーの木の棒で顎を打つ。流水でしっかり洗い、ワセリン・傷パットで処置をし、家でも取り替えてもらうように願う。翌日傷の状態が想像より良くなかったため わたなべ皮膚科・形成外科を受診する。手当としては、間違っていないが、時期的(6月)に化膿する恐れがあるので、抗生物質の入った塗り薬を処方してもらう。経過も良好であった。
- ▷頭部外傷…2歳児 園庭で遊んだ後、ゴムチップのところまで座って次の指示を待っていたところ立ち上がった瞬間バランスを崩し前のめりになり、マンホールの角で頭を打つ。傷口が開き出血する。すぐに、止血をしながら、わたなべ皮膚科・形成外科を受診する。消毒をし、ホッチキスでの縫合。11日後抜糸する。
- ▷口の怪我…1歳児 室内でフラフープで遊んでいるときに持ったままバランスを崩し電子ピアノにあたり、反動で転倒。口から出血、歯茎(下の前歯)の打ち身による歯の揺れが感じられたため、山本歯科を受診、異常はみられなかった。何かあれば、再受診してください、とのことであったが、特に変化もみられなかった。
- ▷額の打ち身…1歳児 居残り保育中 転倒した際、額をロッカーの角でぶつける。すぐに内出血し腫れる。山下脳神経外科に連絡をし診てもらうことを確認する。冷やししながら受診。異常はなく、経過も良かった。

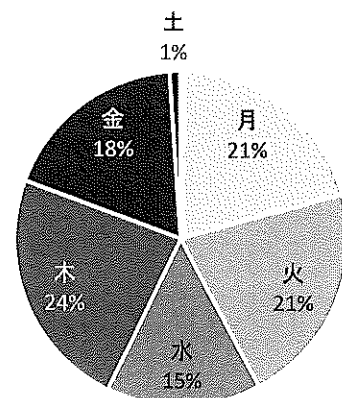
曜日別のケガの件数

	月	火	水	木	金	土	合計
午前	29	30	24	31	22	1	137
午後	11	11	5	14	13	1	55
合計	40	41	29	45	35	2	192
曜日別 病院を受診したもの							
午前	2	0	1	0	1	0	4
午後	0	1	0	1	0	0	2
合計	2	1	1	1	1	0	6

年齢別ケガの状況



曜日別発生状況



## ③苦情及び苦情解決の状況について

2019年度の件数 … 3件

▷申請日:2019年9月2日(月)

内容…松山市から当園のことに関する手紙が届いた旨連絡が入る。

要望…職員への対応の改善

経過・結果…2019年9月3日(火) 職員に手紙の内容を伝え、一人ひとりが振り返りの時を持つ。保育者としての望ましい姿や利用者への対応等話をし、意識統一をする。

▷申請日:9月12日(木)

内容…アレルギーの対応について

要望…アレルギー症状が出たときに連絡はあったが、もう少し早く連絡が欲しい。

経過・結果…少しでも症状が出た際には、すぐに保護者に電話をし対応する。また、食事の際のアレルギー対応を徹底する。

▷申請日:10月17日(木)

内容…散歩の歩き方について

要望…家の前を歩く際に、鉄板の上を歩く音がうるさいので歩き方に気を付けて欲しい。

(名前は名乗られず、電話がある。)

経過・結果…職員全体に伝え、散歩をする際には気を付けるよう意識統一をする。

④ 研修参加状況について

2019年度 施設外研修

No.	実施月	研修会名	参加職種	研修内容	場所
1	2019.4.6	平成31年度 松山市保育会総会	保育教諭	・総会 ・全体研修 講演「子どもの未来に花を咲かせましょう」	松山市
2	2019.5.23	発達支援ルームでこぼん 講演会	園長 保育教諭	講演「子どもを育てる遊びの実技」 実技	松山市
3	2019.5.25	全国認定こども園協会 2019年度 愛媛県支部 研修会	園長 保育教諭	講演「幼児教育・保育無償化について」	松山市
4	2019.4.12	日本キリスト教保育所同盟 2019年度 四国地区理事長・園長会	園長 保育教諭	(1)2018・20年度地区理事選任に関する件 (2)2018年度四国地区諸報告 と決算報告承認の件 (3)2019年度四国地区諸計画案と予算案承認の件 (4)2019年度地区活動についての協議に関する件	松山市
5	2019.5.22	2019年度 第1回 松山市地域子育て 支援拠点事業連絡会	指導保育 教諭	愛媛県警「親子の絆づくり教室」案内 地域子育て支援拠点事業について	松山市
6	2019.5.22 ∩ 2019.5.23	令和元年度 愛媛県教育・保育施設 初級職員研修会	保育教諭	講義Ⅰ「保育士として」 講義Ⅱ・実技「伝承あそびは子どもの育ちを助けます」 講義Ⅲ「愛情深い保育を考える」 講義Ⅳ・実技「運動・実技」	松山市
7	2019.6.22	2019年度 保育者のための救命講習会	保育教諭	救命講習	松山市
8	2019.5.25 ∩ 2019.9.7	第28回 発達支援保育研修会	保育教諭	第1・2回「医師の視点で診る発達障がい」 第3・4回「発達障がい児の特性の理解と具体的な支援」 第5・6回「保育の中で気になる子どもへのかかわり方や支援のポイント」	松山市
9	2019.6.4	2019年度愛媛県水泳プール安全管理講習会	保育教諭	プール施設の安全管理について ・ 救急法について	松山市
10	2019.6.5	防災に関する社会福祉施設管理者 向け説明会	園長	講演「社会福祉施設の風水害対策について」 「防災気象情報の活用について」「施設の地震対策について」	松山市
11	2019.6.5	保育所等給食・食育担当者研修会	調理員	講話「大量調理施設衛生管理マニュアルについて」 情報提供「第3次松山市食育推進計画について」 「授乳・離乳食の支援ガイド改定について」「乳児用液体ミルクについて」	松山市
12	2019.6.27 ∩ 2019.6.28	令和元年度 保育士等キャリアアップ研修 専門分野別研修「①乳児教育」	保育教諭	講義Ⅰ「乳児保育の環境」 講義Ⅱ「乳児への適切な関わり」 発表・グループ討議「子どものより良い育ちにむけた関係機関とのネットワーク」 講義Ⅲ「乳児保育の意義」 講義Ⅳ「乳児の発達に応じた保育内容」 講義Ⅴ「乳児保育の指導計画、記録及び評価」	松山市
13	2019.6.24	令和元年度 発達支援実践研修会(第1回)	保育教諭	講演「体をつくり、聞く力、話す力を育てましょう」	松山市
14	2019.7.10	令和元年度 発達支援実践研修会(第2回)	保育教諭	講演「子どもの遊びの分析～体験を通して～」	松山市
15	2019.8.17	HANAセミナー	保育教諭	・オリジナル遊びうたを楽しもう！ ・うたって動いてリズム遊び！ ・いろいろな 楽器の正しい使い方を知りましょう！ ・鍵盤ハーモニカを楽しむ裏ワザ！ ・簡単なリズム打合奏をしよう！ ・有音程打楽器の簡単な導入を知ろう！ ・鍵盤ハーモニカサンプルで美しいハーモニーを奏でよう！ ・各年齢に応じた器楽合奏を実際に演奏しながら、まとめ方を身につけよう	松山市
16	2019.6.22	子ども子育て連絡協議会 第1回研修会	保育教諭	講演①「福祉の心」 講演②「事故対応」	松山市
17	2019.7.29	令和元年度 第2回 松山市地域子育て 支援拠点事業研修会	保育教諭	講演「拠点の基本及び拠点での育休中の親子の支え方」 グループワーク・質疑応答 事務連絡	松山市
18	2019.8.6 ∩ 2019.8.7	令和元年度 保育士等キャリアアップ研修 専門分野別研修「②幼児教育」	保育教諭	講義Ⅰ「幼児教育の意義と保育者の関わりⅠ」 講義Ⅱ「幼児教育の意義と 保育者の関わりⅡ」 講義Ⅲ「幼児教育の意義と保育者の関わりⅢ」 講義Ⅳ「これからの保育実践に求められていること-子どもの発達理解と子 どもの目線の保育-I」 講義Ⅴ「これからの保育実践に求められているこ と-子どもの発達理解と子どもの目線の保育-II」 講義Ⅵ「これからの保育 実践に求められていること-子どもの発達理解と子どもの目線の保育-Ⅲ」	松山市

No.	実施月	研修会名	参加職種	研修内容	場所
19	2019.8.22 ) 2019.8.23	令和元年度 保育士等キャリアアップ研修 専門分野別研修「③障がい児保育」	保育教諭	講義Ⅰ「障がいをもつ小児の発達と対応について」 講義Ⅱ「新保育所保育 要領がめざす資質・能力の基礎を育成するために配慮が必要な子どもの 保育と連携」 発表・グループ討議「配慮を必要とする子どもや家庭への支援 にむけて」 講義Ⅲ「特性のある子どもの理解と支援」 講義Ⅳ「基礎編 遊びの可能性を知る -子どものしていることには意味がある-」 講義Ⅴ「実践編 遊びの有効活用 -子どもの出来ることから始めよう-」	松山市
20	2019.9.10 ) 2019.9.11	令和元年度 保育士等キャリアアップ研修 専門分野別研修 「④食育・アレルギー対応」	調理員	講義Ⅰ「食物アレルギーとアナフィラキシー対応」 講義Ⅱ「子どもたちの 可能性を広げる食事」 発表・グループ討議「食を営む力の基礎を培う食育 の推進」 講義Ⅲ「保育所における食育の計画と実践」 講義Ⅳ「保育所における食物アレルギー対応食の提供」 講義Ⅴ「食物アレルギー予防のためのスキンケアと薬の基礎知識」	松山市
21	2019.9.10	令和元年度 発達支援実践研修会(第3回)	保育教諭	続編「子どもの発達や特性に応じた遊び」～保育の現場で思うこと～	松山市
22	2019.10.1 ) 2019.10.2	令和元年度 保育士等キャリアアップ研修 専門分野別研修 「⑤保健衛生・安全対策」	保育教諭	講義Ⅰ「よく見る小児の感染症」「小児の予防接種」 講義Ⅱ「保育所での 食物アレルギーへの基本的対応」 講義Ⅲ「保育所でのアレルギー-緊急時の 対応～新アレルギー対応ガイドラインにふれて～」 講義Ⅳ「保健計画の作成と 活用」 講義Ⅴ「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の 対応のためのガイドライン」 講義Ⅵ「事故防止及び安全対策」	松山市
23	2019.11.14 ) 2019.11.15	日本キリスト教保育所同盟 2019年度 四国地区 職員研修会	主幹保育教諭 保育教諭	施設見学 講演「生きる力を育てるために」 森上史郎先生を偲んで『キリスト教保育百年からの出発』 講演「キリスト教保育と福祉」	徳島県
24	2019.10.28	令和元年度 発達支援実践研修会(第4回)	保育教諭	講演「言葉を促す遊びと関わり方 ～保育の現場でできること～」	松山市
25	2019.11.7	令和元年度 愛媛県人権・同和教育研究大会	主幹保育教諭	分科会「人権教育の創造」	松山市
26	2019.10.30	令和元年度 第3回 松山市地域子育て支援拠点事業研修会	保育教諭	講演「輝け！すてきな子どもたち」 グループ討議・情報交換	松山市
27	2019.10.30	主任保育士・主観保育教諭研修会	主幹保育教諭	講義「リーダーシップと働き方改革」	松山市
28	2019.11.25 ) 2019.11.26	令和元年度 保育士等キャリアアップ研修 専門分野別研修 「⑥保護者支援・子育て支援」	保育教諭	講義Ⅰ「保育所の特性と保育士等の専門性を活かした保護者支援・子育て 支援の基本と役割」 講義Ⅱ「保育所の特性と保育士等の専門性を活かした 保護者に対する相談援助の方法・技術・展開」 発表・グループ討議「地域 の子育て家庭への支援の充実にむけて」 講義Ⅲ「児童虐待への理解と 保育所等における児童への支援」 講義Ⅳ「保育所等における関係機関・ 専門職との連携における役割と相談援助の方法と技術」 講義Ⅴ「保育所の 特性と保育士等の専門性を活かした地域の子育て家庭への支援と子育て にかかわる社会資源の活用方法」	松山市
29	2020.2.8	松山市保育会体育実技研修会	指導保育教諭 保育教諭	体育実技	松山市
30	2019.11.9	2019年度 第2回職員研修会	主幹保育教諭 保育教諭	第1部 講演「発達障がいの基礎知識」 グループワーク「各園の現状」 第2部 講演「気になる子と保護者へのケアと対応」	松山市
31	2019.11.9	令和元年度 障がい児保育派遣研修会	保育教諭	講演「子どもとのよりよい関わりを求めて」～子どものこころの成長(愛着) と発達支援について～	松山市
32	2019.11.28	令和元年度 松山市要保護児童対策 関係機関研修会	園長 保育教諭	「児童虐待に気づくには？～早期発見・早期対応から予防へ～」	松山市
33	2019.12.10	令和元年度 第4回 松山市地域子育て 支援拠点事業研修会	指導保育 教諭	講演「より良い親子関係の形成のために必要な支援とは」 グループ討議・情報交換	松山市
34	2019.12.11	給食担当者研修会	調理員	講演・実習内容「アレルギーフリーの副食とおやつ」	松山市
35	2019.12.18	令和元年度 発達支援実践研修会(第5回)	保育教諭	「ひとりひとりを大切に保育」～子どもの理解から支援へ～	松山市
36	2019.1.28 ) 2019.1.29	令和元年度 保育士等キャリアアップ研修 「⑦マネジメント研修」	保育教諭	講義Ⅰ「マネジメントの理解」 講義Ⅱ「組織目標の設定」 講義Ⅲ「人材育成」 講義Ⅳ「リーダーシップ」 講義Ⅴ「働きやすい 環境づくり」 発表・グループ討議「保育者の資質向上を図る」	松山市
37	2020.1.31	第2回 保育士・保育教諭実技研修会	保育教諭	講義「うたつてあそぼう イェーイェーイェー！！」	松山市

No.	実施月	研修会名	参加職種	研修内容	場所
38	2020.2.12 ┆ 2020.2.13	令和元年度 保育士等キャリアアップ研修 「⑧保育実践研修」	保育教諭	講義Ⅰ「子どもを中心に見すえた自然環境のあり方を考える」 講義Ⅱ「子どもが主体的になる保育環境のあり方を考える」 発表・グループ討議「新たな時代の保育実践～すべての子どもにむけて～」 講義Ⅲ「『新しい時代の保育内容表現と劇あそび』一人ひとりの子どもの 嬉しい姿から発表会へ①身体を使った遊びを発展させる」 講義Ⅳ「『新しい 時代の保育内容表現と劇あそび』一人ひとりの子どもの嬉しい姿から発表会 へ②モノを使った遊びを発展させる」 講義Ⅴ「運動大好きっ子を育てよう。 ～日常生活から行事に生かせる乳幼児向け運動あそび～」	松山市
39	2020.2.17 ┆ 2020.2.18	ステップアップ研修会Ⅲ	園長	講座1「質の向上BⅢ」 講座2「世界に学ぶ幼児教育・保育」 講座3「子育ての支援・地域連携Ⅲ」 講座4「質の向上AⅢ」 講座5「教育 保育要領Ⅲ」講座6「法令遵守・安全対策Ⅲ」 講座7「マネジメントⅢ」	東京都
40	2020.2.1	応急手当講習会	保育教諭	普通救命講習Ⅲ(小児の心肺蘇生法・AED取扱い・ケガの手当等)	松山市
41 自肅	2020.3.9	社会福祉法人 会計セミナー 予算・決算編	園長	I 作成する決算書類等 II 決算スケジュール III 補正予算の作成 IV 決算特有の会計処理 V 決算書の作成例とチェックポイント VI 注記の記載例 とチェックポイント VII 附属明細書の作成とチェックポイント VIII 財産目録の作成例と チェックポイント IX 社会福祉充実残額の計算のポイント	香川県
42	2020.2.26 ┆ 2020.2.27	甲種防火管理新規講習	主幹保育 教諭	①防火管理の意義と制度の概要 ②火気管理、危険物の安全管理、地震対策 ③施設・設備の維持管理 ④自衛消防 ⑤防火管理の進め方と消防計画 効果測定、終了証交付、事務連絡等	松山市
43	2020.2.21	令和元年度 第5回 松山市地域子育て支援拠点事業研修会	保育教諭	講演「前向き子育てプログラムを活用した子育て支援の紹介」グループ討議	松山市
44 自肅	2020.2.29	2019年度 第3回職員研修会	保育教諭	乳児期の育ちに関する3つの視点について「保育士の働きかけ方」 「配慮すべきこと」等の学びを深める	松山市
45 中止	2020.3.24	松山市保育会代議員会	保育教諭	1. 平成31年度事業報告(案)・平成31年度会計報告(案) 2. 令和2年度事業計画(案)・令和2年度会計予算(案)	松山市

## ※子ども・子育て連絡協議会について

研修会以外に 行政説明会、打ち合わせ、情報交換会に園長等が参加する。

## 2019 年度(令和元年度)

### ガリラヤ荘 事業報告

#### 〔事業の種類〕

- |                               |         |
|-------------------------------|---------|
| I. 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設入所者生活介護) | 定員 80 名 |
| II. ショートステイ(〔介護予防〕短期入所生活介護)   | 定員 20 名 |
| III. デイサービス(〔介護予防〕通所介護)       | 定員 35 名 |
| IV. ホームヘルプサービス(〔介護予防〕訪問介護)    |         |
| V. 居宅介護支援事業所(居宅介護支援)          |         |
| VI. 在宅介護支援センター(委託事業)          |         |

#### 1.ガリラヤ荘(全体)

取組事項	取組内容
命と尊厳を守り安心して生活できる施設づくり	<p>① 基礎介護力を高め、多職種協同によるトータルケアの実践(「食べる口」から「出す口」まで尊厳あるケア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 内部研修(基礎介護研修)開催[全 4 回]</li> <li>■ 朝礼(全体)の開催[月～土]</li> <li>■ ミールラウンドによる摂食嚥下機能検討/評価の開催[月 1 回]</li> </ul> <p>② 利用者の自立をサポートするためノーリフティングケアの実践(拘縮・褥瘡予防の抱え上げないケア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ノーリフティング委員会開催</li> <li>■ 外部研修(ノーリフティングケア/介護機器等)参加[3 回]</li> <li>■ 内部研修(ノーリフティングケア)開催[全 28 回]</li> </ul> <p>③ 利用者の人権、プライバシーの保護と共に、虐待防止・身体拘束廃止の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 身体拘束・虐待防止委員会開催[全 12 回※毎月]</li> <li>■ 内部研修(拘束虐待防止)開催[全 2 回]</li> </ul> <p>④ インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症予防の徹底(集団発生 0 件目標に対し発症 8 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 衛生管理委員会開催[全 12 回※毎月]</li> <li>■ 内部研修(感染症)開催[全 2 回]</li> </ul>
在宅生活の支援	<p>① 地域関係機関と連携し、地域の福祉ニーズを捉えて地域包括ケアを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域包括支援センターとの連携[各種会議・研修参加]</li> <li>■ 関係機関との連携(東温市生活支援協議体、介護ネット東温、東温市健康相談)</li> </ul> <p>② 在宅生活をトータル的にサポートするために在宅部門の連携(トータルケアの実践・ノーリフティングケアの提案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ トータルケア・アセスメントシートと記録シートの活用</li> <li>■ 施設内研修(基礎介護/ノーリフティングケア)参加</li> </ul>
地域・広報活動の充実	<p>① 地域における公益な取り組みとして、地域活動推進(男性介護者支援・地域サロン活動への参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域サロンへの出前講座(認知症/脱水症/便秘症/介護予防体操)[全 4 回]</li> <li>■ おとこ塾(男性介護者支援の会)開催[全 2 回]</li> </ul> <p>② 幼稚・保育園・学校との交流と、住民ボランティアの積極的受入(地域住民防災組織との連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各交流会開催(川上幼稚園、川内保育園、川上小学校)</li> <li>■ 各ボランティア受入</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域自主防災組織連携(防災合同訓練)(年2回)</li> <li>③ ホームページ・ブログ等による情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ホームページリニューアル(<a href="https://www.aiinen.jp/">https://www.aiinen.jp/</a>) ブログ配信</li> </ul> </li> </ul>
やりがいを感じ働きやすい職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ノーリフティングケアの実践による労働環境改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 介護機器(リフト、移乗用具)の導入とフォローアップ</li> <li>■ 内部研修(ノーリフティングケア)の開催</li> </ul> </li> <li>② スタッフ心得の徹底(えがお大賞実施)と職員育成の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第4回部門別えがお大賞投票実施</li> <li>■ 第5回ガリラヤ実践事例発表会開催</li> <li>■ 内部研修(職員会)開催(全4回)</li> <li>■ 人事考課・面談の実施(6月・11月)</li> </ul> </li> <li>③ リフレッシュ休暇及び年次有給休暇の計画的取得とストレスマネジメント対応(ストレスチェック実施) <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ストレスチェック実施(NPO 法人こころ塾との従業員支援事業委託の締結)</li> <li>■ リフレッシュ休暇取得推進(最大7連休)</li> </ul> </li> </ul>
安定運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 事業所毎の目標数値設定とコスト(ムリ・ムラ・ムダのない)管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 運営会議での検討[全12回]</li> </ul> </li> </ul>

## 2.1.特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設入所者生活介護)

### 2-1 入所者の状況(令和2年3月31日現在)

#### 【入所・退所状況】

待機者数(令和2年3月末現在 53名)

入 所			退 所		
男	女	計	男	女	計
10	18	28	12	17	29

#### 【年齢構成】

	男	女	全体
入所者数	19	60	79
平均年齢	83.8	89.8	88.3
最高齢	97	104	-
最年少	74	76	-

#### 【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
1	-	3	3
2	1	1	2
3	3	10	13
4	7	24	31
5	8	22	30
計	19	60	79

## 2.-2 医療の状況

### 【入院状況】

	実人数	延日数
4月	7	83
5月	5	64
6月	5	83
7月	6	39
8月	7	86
9月	7	96
10月	7	84

	実人数	延日数
11月	10	88
12月	8	85
1月	6	68
2月	7	89
3月	6	114
合計	81	979
月平均	6.75	81.6

### 【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	19	16
尿路感染	7	2
肝機能障害・胆のう炎	5	1
腸閉塞・腸炎	4	3
心疾患	3	2
脳梗塞	2	1
骨折	1	3
その他	11	4
合計	52	33

### 【医療管理状況】

医療行為	今年度	前年度
胃ろう	5	4
在宅酸素療法	2	1
人工肛門	0	1
尿道留置カテーテル	0	0
インシュリン注射	0	0
痰の吸引(常時)	0	0
合計	7	6

※緊急搬送回数 0回 (前年度 1回)

### 《総評》

入居者の要介護度の重度化は今もなお進んでおり、入居して間もなく看取りに入られた方や永年施設で過ごされた方が死去されたケースが例年より多くおられ、稼働率は下がった。しかし、個々の職員のケアの質は維持されており、きめ細やかな支援ができたと思う。R1年度はノーリフティングケアを導入したので、入居者の拘縮予防と職員の腰痛予防のため今後定着させていきたい。

## 2.-3 機能訓練の状況

### 【週間スケジュール】

	担当	月	火	水	木	金	土
午前	ユニット職員	集団体操 (各ユニットにて)					
	機能訓練指導員	個別機能訓練(南1)	ダブルチェック	個別機能訓練(中1)	個別機能訓練(中2)	個別機能訓練(南2)	個別機能訓練(フリー)
	ユニット職員	お口の体操 (各ユニットにて)					



午後	機能訓練指導員	レクリエーション:風船バレー・音楽クラブ(各週1回程度) クラブ活動:縫布クラブ(第1火曜)・習字クラブ(第2水曜)・俳句会(第4水曜)				
理学療法士(非常勤)		個別機能訓練 練宮岡PT	個別機能訓練 練十全PT		個別機能訓練 練宮岡PT	

【機能訓練内容】

職種	内容	
ユニット職員	生活リハビリ	離床、ポジショニング・シーティング、口腔ケア・リハ、座位・立位訓練など
	集団体操	朝の集団体操、お口の体操
機能訓練指導員	個別機能訓練	関節可動域訓練、ポジショニング・シーティング、口腔リハ、座位・立位訓練など
	集団活動	集団体操(朝の集団体操、お口の体操) 集団レクリエーション(音楽クラブ、風船バレーなど)
理学療法士(非常勤)	個別機能訓練	関節可動域訓練、ポジショニング・シーティング、立位、歩行訓練、生活リハビリの指導など

【外部専門家によるスーパーバイズ】

	内容
河野歯科医師	・個別の歯科治療(随時) ・「口腔衛生管理体制加算」のための介護職への口腔衛生指導(月1回) ・「口腔衛生管理加算」のための口腔内チェック(月1回)
阿部歯科衛生士	・個別の口腔ケア・ミールラウンド(随時) ・「口腔衛生管理加算」のための口腔ケア(月2回) ・「経口移行」「経口維持」のためのミールラウンド(月1回)
光宗福祉用具専門相談員(曾我商会)	・福祉用具の点検・整備、ノーリフティングケアに関する情報提供・相談等(随時)

《総評》

機能訓練部門取組内容

- ①ノーリフティングに取り組むことで、適切な移乗・排泄・入浴動作の獲得を目指す。

2019年3月高知県でノーリフティングに携わっている下元佳子PTによる勉強会を実施し、ノーリフティングへの取り組み方を指導していただく。その後、ノーリフティング委員会の立ち上げ、全職員を対象とした勉強会の実施、アンケートの実施などを行い、ノーリフティングケアをすすめることができた。2019年3月に床走行式リフトを各ユニット1台ずつ計8台購入し、瞬間に使用が広がる。2020年1月短期ユニットに1台追加購入する。また、スカイリフトを9月に5台、11月に3台、(計8台)購入。少しずつ使用広がっている。ノーリフティングの考え方を理解し、身体の使い方を見直し、用具を使う事で、腰痛の発生も減少している。まだ十分な理解を得られていない場面も見受けられるので、引き続き啓蒙に努めたい。

- ②アンカーサポート・バックサポート等を適切に使用し、適切なポジショニングを行う。

現在様々な福祉用具導入し、必要な人に適切な用具が使えるように検討しながら実施につなげている。2019年度は外部のPTやOTなどに指導を受け、評価の方法や用具の選定方法など学んだ。実際の場面では、用具の適応が難しく適切な方法

が見つからないこともあり、まだまだ勉強と経験が必要と感じる。

状態の変化に随時対応するように努めた。ユニット職員の気づきから対応検討し、カード作成するなどして周知に努めている。

必要な事例に関しては宮岡 PT に相談・確認をお願いしている。

③口腔ケア(リハビリ)の周知徹底を目指す。特に口口の体操の実施を徹底する。

残歯が虫歯や歯周病のために欠損していく事例が数例あった。ユニット職員による口こうケアを怠らないことも肝心だが、対象者にはSTや歯科衛生士による定期的な口腔ケアが必要だと痛感した。検討したい。

2-4 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	<p>《全部門》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 総合記録シートを活用したケア向上の継続実施 [記録システムの継続]</li> <li>■ 基礎介護研修の実施(年4回:認知症/食事/入浴(褥瘡)) [基礎介護理解の継続]</li> <li>■ 排泄ケア改善実施(年4回:排泄アドバイザーによる研修) [基礎介護理解の継続]</li> <li>■ オペレーションシート(シフトマニュアル)を活用した統一したケアの実施 [業務マニュアルの継続]</li> <li>■ 多職種連携室を情報共有拠点とした会議、ミーティングの実践 [多職種共同による情報共有]</li> </ul>
資質向上 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 定期面談(年2回)の実施と業務評価によるフィードバックの実践</li> <li>■ 新卒採用者研修体制の実践</li> <li>■ 内部研究発表会(実践事例報告会)の開催(令和2年2月)</li> <li>■ リフレッシュ休暇の取得(正規職員7連休)</li> </ul>
ノーリフティングケア 導入	<p>「目的」:居者の拘縮予防及び職員の腰痛予防のため。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● [研修実施]全職員対象にノーリフティングの必要性と技術についての研修実施(R1.5月-7月)</li> <li>● [リフト導入]スカイリフト8台(R1.9月-11月)、床走行式リフト1台(R1.1月)購入</li> <li>● [腰痛改善]腰痛調査結果 腰痛者 67.3%(R1.5月)73/107 ⇒ 53.1%(R2.2月)51/96 14.2%改善</li> </ul> <p>「経過」</p> <p>H31.4 ノーリフティング委員会設置</p> <p>R1.5 職員の腰痛調査と業務リスク調査(1回目)実施</p> <p>R1.5~7 ノーリフティング研修会実施</p> <p>R1.9 スカイリフト購入(5台)</p> <p>R1.10 フォローアップ研修会実施</p> <p>R1.11 スカイリフト購入(3台)</p> <p>R2.2 職員の腰痛調査と業務リスク調査(2回目)実施</p>

トータルケア(全国高齢者ケア研究会)の実践も年々定着し、ユニット内においても、リーダーが中心となり、利用者の異常に早期に気づき適切に対応できていることもあった。また研修により基礎介護力の定着も進み、職員1人ひとりがエビデンスに基づいたケアの実践に徐々につながってきている。また、Wチェックを実施したり、困難事例カンファレンスを多職種参加で実施したりすることで改善できるケースもあった。令和2年度は、基本に立ち返り、トータルケアのさらなる定着を図り、基礎介護力の知識・技術において向上を目指していきたい。また、前年度に引き続き、「実践事例発表会」を開催した。ノーリフティングケアに沿ったテーマも多く、各部署で準備の過程の中で、知識・技術の向上に努める過程を見ることができた。

ノーリフティング成果として、利用者の方々においては筋力が向上し、座位姿勢も良くなったり、可動域が拡大したりした。また、ト

イレで排泄することが増え、排便の回数や排尿の回数が増え、それに連れてトイレでの排泄を喜ばれたり、表情が良くなったりした。職員の健康調査結果として腰痛を持つ職員の割合が 67.3%から 53.1%に減少した。一方で職員に対するフォローアップ研修は今後の課題として継続して取り組んでいく必要があると考えている。

排泄ケアにおいて、研修を通して知識・技術の定着を感じた。また、ユニットでは排泄委員が中心となり、ユニット職員間で協力して課題解決に取り組む姿も見られた。また、ノーリフティングケアと合わせて、リフトを使ってトイレに誘導する取り組みも進めることができた。

## 2.-4 ユニットの取り組み

### 【中1丁目】

#### 年間ユニットイベント(実績)

4月	新春食事会	10月	芋炊き食べてみんなほっこりよ
5月	お好み焼きを食べよう。	11月	ギョウザを食べてこの冬を乗り越えよう。
6月	あじさいドライブ	12月	忘年会 2018
7月	そうめん流し	1月	新年会 2019
8月	観月祭	2月	節分豆まき
9月	お月見団子作り	3月	ひな祭りパーティー

#### 取組と振り返り

取組	振り返り
日々楽しいことがあり満足していただける生活の支援	なかなかレクリエーション等の時間が難しい中、ケアの中で、コミュニケーションを図り、利用者同士、職員同士、笑顔が見られた。
四季を感じ落ち着いて過ごすことができる環境をつくる。	スタッフみんなで正月やクリスマスの飾りつけを行ってくれた。リビングや居室の掃除が十分にはできておらず、限られたスタッフしか実施できなかった。

### 【南1丁目】

#### 年間ユニットイベント(実績)

4月	お花見昼食会	10月	食事会「芋炊き」
5月	ベランダ喫茶	11月	おやつ作り「スイートポテト」
6月	花壇作り	12月	クリスマス会/忘年会
7月	そうめん流し	1月	新年会
8月	すいか割り/観月祭	2月	節分豆まき
9月	手作りおやつ/バイキング	3月	甘酒作り「ひな祭り」

#### 取組と振り返り

取組	振り返り
余暇活動の充実を図り、日々の生活に楽しみを持って頂けるように支援する。	去年度に比べて離床する機会が増え、風船バレーや散歩などに積極的に取り組むことができた。感染症が流行してからは、終息した後も余暇活動に取り組むことが少なくなってしまう。

季節物の掲示を行い利用者が落ち着いて生活できる環境づくりを行う。	季節に合わせて掲示物を工夫することができた一方で取り組む職員に偏りが見られた。来年度はみんなで声を出し合って取り組むようにしたい。
----------------------------------	---

【中2丁目】

年間ユニットイベント(実績)

4月	お茶会	10月	芋炊き
5月	散歩	11月	スイートポテト作り
6月	手作りおやつ	12月	クリスマス会/忘年会
7月	そうめん流し	1月	新年会
8月	すいか割り/観月祭	2月	豆まき
9月	お月見団子作り	3月	おはぎ作り

取組と振り返り

取組	振り返り
利用者の声に耳を傾け、より楽しく、笑顔で過ごして頂けるよう支援する。	年間実施イベントは計画的に実施できた。レクリエーション、体操など時間に余裕がある時に実施しているが一部職員で実施することが多かった。
清掃に努め、清潔感のあるユニットづくりを行う。	居室清掃は、毎月実施表を作成し、漏れなく実施することができた。窓ガラスや汚れがこびりついている床をきれいにできればさらに良いと思う。

【南2丁目】

年間ユニットイベント(実績)

4月	手作りおやつ喫茶	10月	食事会「芋炊き」
5月	若葉昼食会	11月	季節のおやつ作り
6月	あじさい鑑賞喫茶	12月	クリスマス会/忘年会
7月	そうめん流し	1月	新年会
8月	スイカ割り/観月祭	2月	節分「豆まき」
9月	お月見団子作り	3月	おやつバイキング

取組と振り返り

取組	振り返り
メリハリがある生活を送ることができるよう余暇時間の充実を図る。	計画性が不十分で十分な実施に至らなかった。
季節ものを掲示したり、花を活けたりして暖かい環境づくりに努める。	積極的に活動し、季節に合った環境、飾り付けができたと思う。

《総評》

目標稼働率 97.5%に対し 96.2%。総延べ入院(外泊)日数 979 日。

H31(R1)年度について、これまでの基礎介護力の継続と合わせ、排泄ケアの見直し、ノーリフティングケアの導入をすすめ、より入所者の安全安楽な生活、またスタッフの腰痛対策を実施し、入居者の拘縮・褥瘡予防またスタッフの腰痛解消の効果が少しづつ見られ始めており、引き続き実践していきたい。入所者の状況について、平均要介護度 4.1(年度末)となり、身体的・精神的に重度化傾向の中、健康管理と丁寧なケアに基づく穏やかな暮らしの提供ができるよう、各研修の実施を通して、学びを深めた。しかしながら、看取り期での受入や、長く施設で暮らし来られた入所者の逝去など、入退所が多い年度となり、稼働に影響がみられる結果となった。2 月以降は新型コロナウイルス感染症による、施設の感染対策も実施し、今後感染対策について引き続き検討し、入所者が安心した暮らしを継続できるよう、様々な観点から、施設サービスを見直していく必要が課題である。

3.Ⅱ.ショートステイ(〔介護予防〕短期入所生活介護)

3.-1 利用状況(令和 2 年 3 月 31 日現在)

【利用状況】

延べ人数	男	女	計
予防短期通所	0	79	79
短期通所	1,148	4,657	5,805
合計	1,148	4,736	5,884
平均利用者数	3.14	13.0	16.1

実人数	男	女	計
東温市	14	32	46
松山市	1	3	4
砥部町	-	1	1
愛南町	-	1	1
合計	15	37	52

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
要支援 1	0	0	0
要支援 2	0	79	79
要介護 1	101	77	179
2	181	909	1,090
3	691	2,542	3,233
4	35	856	891
5	139	273	412
計	1148	4,736	5,884
平均要介護度	2.9	3.0	3.0

### 3.-2 ユニットの取り組み

#### 【北2丁目】

##### 年間ユニットイベント(実績)

4月	花見昼食	10月	紅葉ドライブ
5月	豆ごはん	11月	炊き込みご飯
6月	あじさいドライブ	12月	クリスマス会/忘年会
7月	そうめん流し	1月	新年会
8月	観月祭/かき氷	2月	豆まき
9月	焼き芋	3月	ちらし寿司

##### 取組と振り返り(自己評価 1:未実施 2:計画的実施が不十分 3:計画的に実施できた)

取組	評価	振り返り
体操やレクリエーションなど利用者が楽しめる活動を通し、メリハリある生活を送ることができるよう支援する。	3	体操、レクリエーションともに毎日行うことができた。利用者の中には参加して体を動かさないといけないと日課になっている方もいる。
リビングの壁面やテーブルに季節の花を飾ることで会話が弾むような環境を作る。	2	季節に合った環境作りに努めることはできた。安全面に配慮すると殺風景なることがあったためもう少し工夫することができれば良かった。

#### 《総評》

目標稼働率 90%に対し 80.4%。一日の平均利用者 16.1名

「安心した在宅生活を送れるよう支援する」ため、「総合記録シートを活用し、多職種間で情報を共有し事例検討」を行った。結果、ユニットでの記録の見直し、観察による異常の早期発見をもとに多職種によるアセスメントを行い、丁寧なケアの見直しを行うことができた。また、居宅介護支援事業所等への広報活動や情報サイトの空室情報の利用を行った。実績として、ロング利用者の特養入所や、入院による退所したこと、定期利用の新規獲得が多くみられず、特養入所希望のロング利用者入所が続き、稼働が低下する結果となった。

### 4.Ⅲ. デイサービス(介護予防)通所介護

#### 4.-1 利用者の状況(令和2年3月31日現在)

##### 【利用状況】稼働日数 310日

延べ人数	男	女	計
通所介護	2,114	5,096	7,210
総合事業(独自)	378	809	1,187
総合事業(A型)	42	0	42
合計	2,534	5,905	8,439

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
事業対象	42	0	42
要支援 1	85	143	228
要支援 2	293	666	959
要介護 1	807	1,240	2,047
2	1,031	2,053	3,084
3	274	1,447	1,721
4	2	185	187
5	0	171	171
計	2,534	5,905	8,439
平均要介護度	1.5	2.0	1.8

4-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
個別ケアの実施	<p>① 在宅版総合記録シートを活用した情報の共有による個々の体調管理をサポートし、きめ細やかなサービス提供を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ミーティングの強化(朝礼・終礼)による情報共有の実施</li> <li>■ 在宅版総合記録シート、送迎シートの活用</li> </ul> <p>② ハピネスオブライフ(HOL)の提供を目標に、クラブ活動等アクティビティの充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 笑いヨガやスタッフの趣味特技(三味線・お茶など)を活かしたアクティビティの実践</li> </ul> <p>③ マシントレーニングとノーリフティングケアの実践から利用者の在宅生活継続と身体機能の維持を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ マシントレーニングの実施(利用者約7割実施)。体力測定(利用者約4割実施)</li> <li>■ リフトの使用</li> </ul> <p>④ 認知症利用者が役割ややりがいを感じながら、在宅で穏やかにすごすことができるよう気持ちに寄り添える支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 奉仕活動(洗濯物干し、洗濯たたみ、メモ紙づくり、シール貼りなど)の実践</li> <li>■ 脳トレプリントの工夫(スタンプラリーによる景品提供)による意欲向上</li> </ul>
地域との交流	<p>① 地域サロン等へ参加し、地域住民との関係を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 参加実績「文化祭」</li> <li>■ 男性介護者の会(おとこ塾)への参加</li> </ul> <p>② ボランティアの受入や地域(保育園・学校等)や家族(家族会)との交流を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ボランティア受入実績「陶芸」「三味線」「琴」「フラダンス」「演劇」</li> <li>■ 交流会実績「川内保育園(1回)」「川上幼稚園(1回)」「川上小学校(4回)」</li> </ul> <p>③ 地域各事業所との突合や意見交換会への参加により介護・医療の連携を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 介護ネット東温参加(毎月)、意見交換会(9月)</li> </ul>
職員研修	<p>① 運動機能向上のための勉強会を定期に実施しスキルアップを図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ マシントレーニング勉強会(3回)、体力測定勉強会(2回)、その他個別練習(随時開催)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>② ノーリフティングケアの環境整備や勉強会を実施し、利用者や職員の身体的負担軽減を図る <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 内部研修「ノーリフティングケア勉強会」、「基礎介護勉強会」参加</li> <li>■ 外部研修「全国老人福祉施設研究会議」「デイサービスセンター戦略会議」参加</li> </ul> </li> <li>③ 業務内容の見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 個別機能訓練記録用紙の改善</li> <li>■ 職員増員</li> </ul> </li> </ul>
安定運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 車両や備品の管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ デイサービス会議内でのコスト意識に関する周知</li> <li>■ 送迎車両へのドライブレコーダーの導入による安全運転意識の向上</li> </ul> </li> <li>② 広報活動の充実(行事予定表とブログ記事)を図り新規利用者の獲得を目指す <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 行事予定表の工夫(いちおし行事や前月行事の報告など)、ブログでの取り組み発信</li> <li>■ 居宅介護支援事業所訪問でのPR活動(体験利用者 25 名、新規利用者 16 名)</li> </ul> </li> <li>③ 安定した運営のためのコスト意識をもち、新たな加算取得を目指す <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 責任者による実績及び加算要件の確認、デイサービス会議での報告の実施</li> </ul> </li> </ul>

#### 4-3 その他の状況

内容		備考
苦情解決件数	0	
事故報告件数	4	
ヒヤリハット件数	31	

《総評》

### 5. IV. ホームヘルプサービス(訪問介護)

#### 5-1 利用者の状況(令和2年3月31日現在)

##### 【利用状況】

延べ人数	男	女	計
身体介護	11	676	687
身体生活	36	920	956
生活援助	582	1,355	1,937
訪問型独自	177	397	574
	806	3,348	4,154
平均利用者数	2.2	9.2	11.4

##### 【要介護度別利用人数】

要介護度	男	女	計
要支援1	1	3	4
要支援2	3	6	9
要介護1	3	7	10
2	3	7	10



3	0	4	4
4	0	3	3
5	0	0	0
計	10	30	40

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
事業対象	0	0	0
要支援1	9	358	367
要支援2	102	328	430
要介護1	235	889	1,119
2	111	650	761
3	127	228	360
4	161	338	499
5	0	0	0
計	806	3,348	4,154
平均要介護度	1.4	2.0	1.9

5-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
在宅生活の維持	① ケアマネジャーやサービス事業者と情報共有を密にしながら利用者の体調管理に努める ② サービス担当者会議へ参加し関係機関との情報交換を図る
職員研修	① 施設内研修への参加 ② ホームヘルパー会(毎月)を開催しヘルパーの専門性の向上と情報共有を図る ③ 介護ネット(東温市)や、各事業所間の突合へ参加し意見交換や情報収集を図る
安定運営の確保	① ホームヘルパー会での安全なサービス提供や接遇に関する学習を図る ② 広報活動を積極的に行い、新規利用者の獲得を目指す

5-3 その他の状況

内容		備考
苦情解決件数	1	ヘルパーの支援内容を超えるサービスがあったことを利用者に直接指摘した際、利用者の落ち込みが激しく、ご主人より「本人ではなくケアマネに言うのが筋ではないか。」と苦情があった。
事故報告件数	1	常勤ヘルパーが公用車にて利用者の敷地内に駐車する際、庭木に気が付かず接触し公用車を損傷。人的被害はなし。

《総評》

利用者の入所などが続き、件数の減少がみられた。事業所収入の多くの部分を要介護で1日複数回利用している利用者頼みにな

っている面があり、訪問件数の増加が課題となっている。長くご利用いただいている利用者も大事にしながら新規の利用者も増やしていく。経験を積んだヘルパーと年数の少ないヘルパーに同じ利用者の訪問をしてもらうことで、お互いにコミュニケーションを図り、切磋琢磨しながら利用者本位の支援が出来るように心掛けた。利用者の変化を見逃さないようにこれからも皆がお互いの意見を言いやすい職場づくりに努めたい。また事業所外での交流も引き続き行っていく。

## 6. V. 居宅介護支援事業所(居宅介護支援)

### 6-1 利用者の状況(令和2年3月31日現在)

【利用状況】 居宅サービス担当 月間人数 予防 件 介護 件 暫定利用 件

利用者	予防		介護	
	男	女	男	女
東温市	6	19	27	69
松山市	0	0	0	2
計	6	19	27	71
	25		98	

【要介護度別利用人数】

要介護度	男	女	計
要支援1	3	5	8
要支援2	3	14	17
要介護1	11	26	37
2	8	21	29
3	5	17	22
4	1	5	6
5	2	2	4
計	33	90	123

### 6-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
在宅生活の維持	① 事例検討を通じた課題分析(家族関係や介護力等に課題) ② 総合事業マネジメント研修を受け介護予防の充実を図る ③ 加算や根拠を丁寧に確認し制度理解を深める
資質向上	① ノーリフティングケア研修を受け、中重度介護者に対しケアの提案ができる知識向上を図る ② 医療機関での研修に参加し、医療知識の向上と医療連携構築を図る ③ 地域課題や困難事例についての会議等(地域ケア会議/虐待勉強会)へ参加し社会資源の活用など幅広い支援方法の習得に努める
地域活動への参加	① 高齢になっても住みやすい町づくりについて地域住民とともに検討する協議体への参加(生活支援体制事業) ② サロン活動へ参加し口腔ケア、認知症など介護予防の講演を通して、地域交流とともに介護の知識を広げる活動の実践。男性介護者の会を継続実施し、趣味活動や家族同士の交流を図る。

6.-3 その他の状況

内容		備考
苦情解決件数	0	
事故報告件数	0	

《総評》

在宅生活を継続していただく為、利用者だけではなく家族を含めた包括的アプローチを行うため、事業所内での事例検討会を週1回程度開催し、意見の収集やアセスメントの視点の充実を図った。

昨年に引き続き介護支援専門員の入退職があり、新人研修期間を設けるなど利用者の抑制を行った時期はあるが、居宅サービス担当人数については担当ごとの目標平均数として予防6名、要介護26名を上回り、新規の受け入れは請求ベースとして年間40件の受け入れを行っている。

7.VI. 在宅介護支援センター(委託事業)

7.-1 活動実績報告

【相談件数及び内訳】

	内 訳	件 数	合 計
区分	新規	3	160
	継続	157	
相談区分	家族	7	160
	本人	153	
	関係機関	0	
	その他	0	
世帯	独居	126	160
	高齢者のみ	25	
	その他	9	
相談方法	電話	6	160
	来所	0	
	訪問(電話受付)	153	
	その他	1	

【相談内容及び対応】(重複あり)

相談内容	件 数
疾病・健康	142
介護	2
在宅・福祉サービス利用	18
入所・入院	0
経済的	0
苦情	0
その他	0

対 応	件 数
助言・指導	160
他機関連絡	1
申請代行	0
電話・訪問等での安否確認	0
ケアマネ後方支援	0

7.-2 ふれあい・いきいきサロン参加事業

日 時	サロン等	場 所	人数	内 容
5月8日(水)	ねむの木サロン	板戸集会所	12名	口腔ケア、認知症予防、コグニサイズ 歌体操(歌いながら手や足を使う)
8月24日(土)	ほほえみサロン (田窪地区)	田窪公民館	50名	座ってできる体操 認知症予防(言葉あてゲーム、コグニサイズ、歌体操など)

10月16日(水)	なごみサロン	狩場集会所	10名	座ってできる体操 認知症予防(言葉あてゲーム、歌体操)
12月4日(水)	ビヤクシン	樋口集会所	16名	座ってできる体操 認知症予防、(言葉あてゲーム、歌体操)
7月13日(土)	おとこ塾	ガリラヤ荘	7名	ガリラヤ荘でコケ玉作り 男性介護者親睦及び交流会
10月19日(土)	おとこ塾	滑川改善センター	5名	ピザ作り(鮎の塩焼き等) 男性介護者親睦及び交流会
合 計			100名	

### 7-3 地域関連事業

	事業名	内 容	主 催 者
地 域 関 連 事 業	介護ネット東温	搜索訓練 メールでの連絡訓練	介護ネット東温
	東温市健康相談	診察相談 東温市地域包括支援センター出張窓口 介護相談及び広報支援	東温市健康推進課
	東温市行方不明声掛け訓練	認知症の方への声掛け	東温市地域包括支援センター
	生活支援体制整備事業	第1層・第2層協議体 「助け合い・支えあいとうおん」 地域課題の表出 月1回実施 サロン活動のインタビュー	生活支援コーディネーター

#### 《総評》

地域支援活動については、サロン支援や交流を行い、地域の実情を把握するとともに施設の理解を深めていただく事が出来た。意見交換することで社会資源を理解し積極的に情報発信する場となった。認知症や介護予防について、自宅でできる体操などわかりやすいと好評だった。

生活支援体制整備事業では、地域で活躍されている方へのインタビューを開始。住民参画の実情を踏まえた上で地域課題の表出を行っている。今年度は長期間支援センター業務を専従していた職員が退職し、非常勤の職員が兼務として業務にあたっているため実績数としては大幅な減少となっている。

8.各部門報告(委員会活動を含む)

8-1 防災・防犯活動

訓練項目	開催日時	参加者	内容
総合訓練 (ガリラヤ荘)	R1年6月9日(日) 13:30-15:00	利用者 90名 職員 30名 地域自主防役員 12名	地域自主防災会と合同訓練を実施。全体での避難訓練終了後、レスキューシートの説明及び階段避難訓練。併せて車椅子での階段搬送訓練、簡易担架の使用訓練、小型発電機操作の確認、消火器を使用した消火訓練。
消防訓練(東温市防災センター)	R1年7月26日(金) 17:30-18:00	職員 19名	消防署員の指導により、消火・地震・煙避難等を体験。
普通救命講習Ⅰ(ガリラヤ荘)	R1年8月29日(木) 18:00-21:00	職員 18名	心肺蘇生法・AEDの使用法・異物除去法・止血法等を学び、受講者全員、普通救命講習修了証を取得。
夜間想定通報訓練 (ガリラヤ荘)	R1年12月17日 (火)20:00-21:00	職員 112名	夜間出火想定での火災通報訓練、夜間緊急時連絡表での非常招集訓練を実施。
シェイクアウトえひめ (ガリラヤ荘)	R1年12月19日 (火)11:00-11:15	利用者 118名 職員 40名	愛媛県全体での地震を想定した安全行動をとる訓練を実施。
防犯訓練	R1年10月23日 (水)14:00-15:00	松山南警察署 職員 18名	防犯に関する講和、不審者への対応、通報の方法、さすまたの使用法

8-2 感染症対策

① 衛生管理委員会の開催(毎月)

毎日の朝礼、月1回の委員会などで感染症についての情報提供を行い意識づけを行うことで、職員個人個人が日常的に感染予防を行う理由を理解したうえで実施できるようになった。

新型コロナウイルス感染症の対応は今後も継続して取り組んでいきたい。

感染症報告

<インフルエンザ等>

本年度はインフルエンザ対策として、スタンダードプリコーションを徹底し感染対策を行ったところ、職員は散発したものの入居者は一人も感染者を出さなかった。令和2年2月頃からは全国的に新型コロナウイルス感染症の流行がみられはじめている。法人全体での感染対策を協議検討中であり、引き続き感染対策を徹底していく必要がある。

	利用者					職員				
	特養	短期	デイ	在宅	他	特養	短期	デイ	在宅	他
A型	0	0	1	0	0	3	0	3	1	0
B型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	1	0	0	3	0	3	1	0

<その他>

ノロウイルス等、その他の感染症発生なし。

汚物処理方法の統一や日頃の標準的予防策の励行により、感染予防への意識が浸透、感染予防の徹底が図られている。

### 8.-3 褥瘡対策

#### ① 褥瘡対策委員会の開催(毎月)

委員会メンバーを中心に、今まで通りきめ細やかな観察・対策を行い、褥瘡予防に取り組んだ。今後も皮膚科 Dr を含む栄養士や機能訓練指導員など、多職種で褥瘡対策に取り組んでいく。また、R2 年度はノーリフティングケアを定着させることで入居者の拘縮予防や褥瘡予防にも取り組んでいきたい。

### 8.-4 権利擁護・苦情解決

#### ① 権利擁護苦情相談委員会の開催(随時)※令和元年 11 月 18 日(ガリラヤ久米合同)

令和元年度苦情件数 3 件

##### 苦情 1

「CDラジカセの電池を購入してほしい」とポチ袋に入ったお金を預かったが、それを上司に相談せずユニット職員間でのみ相談し床頭台に置きっぱなしにしていた。その後電池を購入していないにもかかわらず、他の職員に確認をしないまま「購入しました」と家族に伝えたことに対してのご指摘を受ける。

対応・・・施設長と生活支援部課長から家族へ状況説明、謝罪を行った。

##### 苦情 2

家族よりリーダーへ「昨日の夕食後に面会に来て部屋に入ろうとした時に、居室の中から『待っというて』と母にきつい口調で職員が言っていたのが聞こえた。そのあと部屋に入るとひざ掛けが床に落ちていた。前も同じ職員(ケース1の件と今回のご家族は同一の方)だったのとその時何があったのか知りたかったし、声掛けの仕方がきついと思ったのでその場で職員本人に直接厳しく注意させてもらった。」と報告があった。

対応・・・ユニットリーダーと介護主任が状況を確認し、対象職員へ入居者に対しての不適切な言動の指導を行うとともに、施設長と生活支援部課長から家族へ状況説明、謝罪を行った。

##### 苦情 3

家族より、「特定の職員が、挨拶しても返事がない。母が声をかけても返事しない。トイレ介助の後も、家族が部屋にいるのにひと声もかけずそのまま出ていってしまった。プロの職員がすることではない。」と指摘あった。

対応・・・家族から報告を受けた相談員がその場で直接謝罪し、リーダーが該当職員に状況を確認、対象職員へ家族に対しての挨拶の仕方や介助時の声掛けについて指導を行う。

### 8.-5 身体拘束・高齢者虐待対策

#### ① 身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会の開催(毎月)

身体拘束件数 0 件 高齢者虐待件数 0 件

施設指針の周知、毎月不適切ケア等の事例検討を行い、また各事業所での自己点検チェックをすることで、虐待等に繋がらない環境づくりや意識付けをすることができた。また介護相談員と意見交換を行い、問題意識をもちながら、より安全安心な支援を考えていくことができた。

### 8.-6 栄養対策

#### ① 給食委員会の開催(毎月)

栄養ケアマネジメントを実施。利用者の摂食状況や提供方法、献立等について施設長、各事業所職員、多職種、委託業者と検討。「人として最期まで口から食べる」ことに重きをおき、ソフト食・やわらか食を提供。また、便秘対策のため食物繊維の多い食事の提供を継続実施。一人ひとりの身体状態や嗜好を考慮した個別対応を行い、季節感のある食材や行事食を取り入れ、利用者により一層満足していただける食事提供に努めていきたい。

## 8-7 事故対策

### ① 安全委員会の開催(毎月)

委員会内においてヒヤリハットや事故の事例検討を行いながら、ケア方法の見直しや環境整備の配慮に努めた。入所・入居者の状態・状況が事業所によって異なる中、それぞれにおいて重点的に注意すべきことに変化があり、今後も事例検討を重ねながら、重大事故を未然に防げるように努めたい。

### ② 事故・ヒヤリハット報告

#### I 月別発生件数(事業所別)

月	特養	短期	計
4月	47	11	58
5月	59	12	71
6月	50	9	59
7月	52	12	64
8月	51	18	69
9月	38	11	49
10月	51	14	65
11月	62	8	70
12月	47	19	66
1月	38	14	52
2月	41	13	54
3月	45	13	58
総計	581	154	735

#### II 内容別発生件数

	計
転倒※1)	66
転落※2)	84
内出血	284
服薬ミス	52
他※3)	99
傷	50
対人トラブル	1
表皮剥離	32
在宅酸素ミス	2
食事提供ミス	2
異食	4
総計	676

	計
転倒(未遂)	38
転落(未遂)	16
服薬ミス(未遂)	4
異食(未遂)	1
総計	59

※1) 立上りや歩行での転倒

※2) 車椅子、椅子、ベッドなどからのしりもち、座り込みを含む

※3) 原因が特定されない軽症や事故危険があったものを含む

### Ⅲ報告レベルの内訳

※ヒヤリハットを含む、すべての事故報告

I	ミスをしたまたは異常なし	565
II	バイタル異常または看護師による処理	147
III	病院受診	20
IV	入院加療が必要	3
V	後遺症が残るあるいは死亡	0
総計		735

### Ⅳ受診及び市事故報告提出の内訳

事業所	内容	受診	市報告	
【特養】	4/1 転落	4/1	4/2	※車椅子座位(レントゲン検査し左肋骨に骨の歪みの所見あり。)
【短期】	5/4 転倒	5/7 5/20	5/7 5/20	※歩行独歩(レントゲン撮影し異常なし。)
【短期】	5/7 転倒	5/7	5/8	※歩行独歩(CT撮影し異常なし。)
【短期】	6/20 転倒	6/21	6/24	※歩行独歩(レントゲン撮影し異常なし)
【短期】	7/15 転倒	7/16	7/19	※歩行独歩(異常なし)
【特養】	7/30 排泄	7/30	8/1	※ベッド臥床(左上腕骨近位端骨折)
【特養】	7/31 移乗	8/2	8/6	※ベッド臥床(レントゲン検査実施し左上腕骨遠位端骨折。)
【特養】	8/5 他	8/9	8/13	※車椅子座位(レントゲン検査実施し右大腿骨遠位端骨折。)
【特養】	10/30 移乗	11/5	11/7	※車椅子移乗(右脛骨遠位端骨折)
【特養】	11/17 転落	11/18	11/21	※排泄おむつ(頭部CT、レントゲン検査し異常なし。他検査のため入院。)
【特養】	12/8 転倒	12/9	12/10	※食事前(頭部CT、レントゲン検査し異常なし。)
【特養】	12/13 転倒	12/14 12/20	12/16 12/27	※車椅子移動(レントゲン検査し、右大腿骨下端骨折。)
【短期】	1/13 転倒	1/13	1/17	※椅子立ち上がり(CT検査し右大腿骨転子部骨折)
【短期】	1/16 転落	1/16	1/20	※車椅子座位(レントゲン・CT検査し異常なしとのこと。)
【特養】	1/7 転倒	1/10 1/23	1/16 1/23	※歩行独歩(レントゲン検査実施し、第一腰椎圧迫骨折。)
【特養】	1/25 転落	1/27	1/29	※ベッド臥床(左手指縫合、CT検査し、左前側頭葉に新しい硬膜下血腫像あり。)
【特養】	2/3 転落	2/3	2/5	※ベッド端座位(レントゲン検査し骨折なし。右脛縫合。)
【特養】	2/18 転倒	2/20	2/25	※車椅子座位(頭部CT、右膝レントゲン検査し骨折・異常なし。)
【特養】	3/26 内出血	3/27	3/31	※床這い移動(※レントゲン・採血し、骨折なし。右膝に水が溜まっていると。)



	受診件数	市報告件数
特養	15 件	13 事例 15 件
ショートステイ	8 件	6 事例 7 件
総計	23 件	19 事例 22 件

(考察)

全体件数としては、前年度と比較し 270 件の減少となった。インシデントレベル(ひやりはっと記録)が、全体の約 7 割以上を占めている。アクシデントとして認めるレベルⅢ以上については、23 件と前年度と同数を記録した。また、19 件の事例について計 22 件の事故報告を市に行った。その中で方法を確認し、原因を特定した上で介助方法の検討を行ったり、環境の再検討を行ったりして再発防止に努めた。服薬ミス・誤薬について、未遂を含むと令和元年度では総件数 52 件となり、近年にはないような数の服薬ミス・誤薬の数となってしまった。うち、床やその他の場所に薬が落ちていたケースが服薬ミス 46 件中 28 件と最も多かった。これは服薬後に薬を吐き出したものと考えられるケースが多く、マニュアルを守ることができていないケースもあり、しっかりとマニュアルを遵守することを促すことで誤薬ゼロを目指したいが、マニュアルそのものに問題がないか、再検討し、場合によってはマニュアルの再検討を行い、再発防止に努め、改善していきたい。誤薬についても 6 件あり、必要に応じて面談を実施し、薬の重要性について伝えるように努力した。

毎月の安全委員会活動では各ユニットから起きた事例について対応策を検討し、その後の経過を検証した。特に誤薬や服薬ミスを中心とした事例検討を行い、原因分析をしっかりと行い、再発防止に向けての対策について全体への周知に努めた。全体研修としてはリスクマネジメント研修会を開催し、リスクマネジメントについて理解を深めるとともにKYT(危険予測トレーニング)を実施し、危険予測について学ぶ機会をつくるよう努めた。また、データから事故の起きやすい時間帯や場所などを伝え、注意喚起を行った。

9.行事・施設内研修・実習等受入の状況

	全体行事等	各事業所行事	実習等受入
4	入職式 永眠者記念会 不在者投票(県議会議員選挙) お花見ドライブ(SS)	入職者研修(久米合同) リフト勉強会 リフト見学(味酒のていれぎ荘)	
5	福祉の仕事 1 日体験打ち合わせ会 花の日訪問(松山東雲短期大学付属幼稚園) 紫陽花ドライブ(中1、SS)	梶原先生・排泄研修 光洋コンシェルジュ ノーリフティング研修(下元さん来荘) 認知症勉強会 愛媛県老人福祉大会	
6	花の日訪問(城南高校) 職員会 防災訓練(南方東自主防災会合同)	福祉用具講習会(県社協) 身体拘束・虐待防止研修 メンタルヘルス勉強会(こころ塾) 食中毒勉強会	聖カトリック大学事例研究報告会 介護福祉科施設実習担当会(河原学園)
7	消防訓練(東温市防災センター) 夏休み 1 日体験事前説明会・学生 3 名体験 そうめん流し	ノーリフティング研修(下元さん・白方さん来荘) 基礎介護勉強会(食事) トータルケア勉強会(泉田氏)	聖カタリナ大学社会福祉士実習連絡協議会 東温高校介護職員初任者研修 台湾(嘉南薬理大学)学生介護実習

	不在者投票(参議院議員選挙) ワックス掛け		
8	ねたきりになら連隔り披露 GHやわらぎ夏祭り しあわせのつどい(国際ホテル) 入居者レントゲン健診 観月祭 福祉の仕事1日体験反省会 川内中学校職場体験(5日間)	ノーリフティング研修 普通救命講習 梶原先生・排泄研修 光洋コンシェルジュ 中堅リーダー研修会 基礎介護勉強会(排泄)	台湾(嘉南薬理大学)学生介護実習 松大生・施設見学ボラ(塩見) 聖カタリナ大学社会福祉士実習 聖カタリナ大学介護実習 愛媛大学介護体験(教育学部生)
9	東温市長一日施設長就任・赤ちゃんこ 贈呈式 職員会 介護ネット意見交換会(芋炊き) 東温市文化祭打ち合わせ いら車椅子清掃 県社協巡回・見学体験会(一般・高校 生)リフト体験 愛媛医療センター交流会(サンルート 松山)	リスクマネジメント勉強会(米子先生)	愛媛大学医学部介護体験 河原医療大学校老年看護学実習 台湾(嘉南薬理大学)学生介護実習 松山東雲女子大学社会福祉士実習 河原医療福祉専門学校介護実習 聖カタリナ大学学生ボラ(日野) 聖カタリナ大学社会福祉士実習 聖カタリナ大学介護実習
10	運動会 秋祭(松瀬川獅子舞保存会施設訪問) (森地区神輿・奉納踊り) 東温市社会福祉大会(大谷) 男塾 全国老協研修 互助会① 口から食べたい研修	口腔ケア勉強会 原子力防災へリ訓練 防犯訓練(松山南署) 看取り研修	松山城南高等学校介護実習 愛媛大学医学部看護科老年看護学実 習
11	こころ塾新人職員面談 感謝祭(第6回) 収穫祭り訪問(松山東雲短期大学付属 幼稚園) 苦情委員会	スタンディングリフト研修 互助会②(そらともり) トータルケア勉強会(泉田氏) 梶原先生・排泄研修 光洋コンシェル ジュ 腰痛予防体操勉強会 利用者集団予防接種(インフルエンザ)	愛媛大学医学部看護科老年看護学実 習 松山城南高等学校介護実習
12	東温市社協共同募金歳末施設訪問 職員会 東温市婦人会歳末訪問・車椅子清掃 シェイクアウトえひめ・夜間想定避難訓 練 防災研修(外部)	トータルケア勉強会(泉田氏) 勉強会(法令遵守) 基礎介護勉強会(入浴)	聖カタリナ大学社会福祉士実習報告会
1	認知症研修会(県社協)		松山城南高等学校介護実習

2	グレードアップ研修(旭川) 身体拘束虐待防止研修(県社協)	身体拘束・虐待防止研修(バリデーション)米子先生 梶原先生・排泄研修 光洋コンシェルジュ スカイリフト研修 第5回実践事例発表会	つくい見学来荘 聖カタリナ大学介護実習
3	家族会総会(コロナ対策として中止) 介護相談員合同連絡会(中止) 職員会(中止) 消防設備点検(ALSOK)	トータルケアTV勉強会(泉田氏)ガリ久米にて	聖カタリナ大学介護実習 東雲大学 SW 実習意見交換会(不参加)
他	通年		委員会活動
	毎月・誕生昼食会 おやつ、お茶の時間(毎日) 訪問理容(ブルーライン・たかの子理容) 東温市移動図書館「かぼちゃん号」 医師の回診 嘱託医5名(中川・八木・河野・吉田) 往診医6名 (石山・菅野・清水歯科/石川・いずみだ・まえおか眼科) 訪問販売(セブンスターとくし丸・パン2社)		運営委員会 安全(事故発生防止)委員会 衛生管理委員会 身体拘束廃止委員会 高齢者虐待防止委員会 給食委員会 権利擁護・苦情相談委員会 在宅委員会 入所判定委員会 デイ定例会 ノーリフティング委員会・排せつケア委員会
	クラブ活動・ボランティア等		
	{クラブ活動} 陶芸(隔週水曜日) 習字(月1回・第2水) 俳句会(第4水曜日) 音楽/風船バレー(各ユニット月1回) 縫布クラブ(第1火曜)	縫布ボラ(第1火曜日) 喫茶ヘリーヘリー(特養・デイ隔月) 紙芝居ボランティア(月1回デイ・月1回特養・SS不定)2月～休止 介護相談員(基本:第1火曜日) 山内さんのボランティア(第3水曜日)*2月で終了 傾聴ボランティア”笑顔に会いたい”(第4金曜日) トーンチャイムレインボー(季節毎・第2金曜日) オカリーナそよ風(季節毎・第3火曜日)	

#### 10.施設外研修の状況

##### 【施設外研修】

研修項目	全体		特養/SS		デイサービス		訪問介護	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
介護	9	9	12	23	2	2	2	2
看護・保健・医療			2	2				
防災・防犯	1	1					1	1
人材育成・マネジメント			1	1				

専門(スキル向上・資格等)	1	1	5	5			1	1
行政(介護保険・制度他)	1	1						
財務会計			2	2				
人事・労務管理	4	4						
他	3	3	2	2	1	1	2	2
小計	19	19	24	35	3	3	6	6

研修項目	居宅介護支援		合計	
	件数	人数	件数計	人数計
介護	2	4	27	40
看護・保健・医療			2	2
防災・防犯	4	4	6	6
人材育成・マネジメント			1	1
専門(スキル向上・資格等)	16	24	23	31
行政(介護保険・制度他)	1	1	2	2
財務会計			2	2
人事・労務管理			4	4
他			8	8
小計	23	33	75	96

#### 11.職員の状況

部門等	前年度末	平成31年度当初				令和元年度中の状況			令和元年度末	常勤換算 (年度末雇用契約)
		退職 (31.3.31 付)	入職 (31.4.1 付)	異動 (31.4.1 付)	職員計	入職	異動	退職		
特養/短期	91	-3	4	0	92	7	0	-14	85	
（介護職）	65	-2	4	0	67	4	0	-10	61	
（看護職）	9	0	0	0	9	0	0	0	9	
（その他）	17	-1	0	0	16	3	0	-4	15	
デイサービス	15	0	0	0	15	3	0	-2	16	
訪問介護	11	0	0	0	11	0	0	-1	10	
居宅	5	-1	0	0	4	0	0	0	4	
計	122	-4	4	0	122	10	0	-17	115	0

※) 医師等嘱託契約者の数は上記に含めず

【医師3名、歯科衛生士1名、理学療法士2名(特養/デイ)、作業療法士2名(デイ)】

12.サービス別 利用状況一覧

特別養護老人ホーム		定員80名・8ユニット（ユニット定員10名）												
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	29	31	366	
要介護	1	60	42	50	62	62	60	93	90	93	93	87	93	885
	2	90	93	90	93	93	120	124	82	108	117	87	62	1,159
	3	360	341	330	341	341	335	351	295	286	317	319	377	3,993
	4	701	696	744	795	777	774	807	841	885	874	873	925	9,692
	5	1,095	1,230	1,087	1,150	1,108	988	1,017	998	1,022	977	854	907	12,433
総計	平均介護度	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1	4.12
	延べ利用人数	2,306	2,402	2,301	2,441	2,381	2,277	2,392	2,306	2,394	2,378	2,220	2,364	28,162
	平均利用人数/1日	76.87	77.48	76.70	78.74	76.81	75.90	77.16	76.87	77.23	76.71	76.55	76.26	76.9
	稼働率	96.1%	96.9%	95.9%	98.4%	96.0%	94.9%	96.5%	96.1%	96.5%	95.9%	95.7%	95.3%	96.17%

ショートステイ		定員20名・2ユニット（ユニット定員10名）												
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
要介護	利用実人数	32	30	28	31	30	27	28	30	28	27	25	28	286.7
	利用延べ人数計	510	474	480	491	506	482	485	463	468	486	453	507	5,805
	平均介護度	2.77	2.94	3.01	2.97	2.92	3.21	3.22	3.01	3.04	3.09	3.18	3.21	3.05
	平均利用人数/1日	17.00	15.29	16.00	15.84	16.32	16.07	15.65	15.43	15.10	15.68	15.62	16.35	15.86
要支援	利用実人数	2	2	2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1.50
	利用延べ人数	8	9	8	8	4	8	5	7	7	7	4	4	79
	平均利用人数/1日	0.27	0.29	0.27	0.26	0.13	0.27	0.16	0.23	0.23	0.23	0.14	0.13	0.22
総計	延べ利用人数	518	483	488	499	510	490	490	470	475	493	457	511	5,884
	平均利用人数/1日	17.27	15.58	16.27	16.10	16.45	16.33	15.81	15.67	15.32	15.90	15.76	16.48	16.1
	稼働率	86.3%	77.9%	81.3%	80.5%	82.3%	81.7%	79.0%	78.3%	76.6%	79.5%	78.8%	82.4%	80.39%

デイサービス		利用定員35名												
項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数		26	27	25	27	26	25	27	26	25	25	25	26	310
要介護	利用実人数	64	63	62	59	63	53	58	60	59	55	53	52	58
	利用延べ人数	662	680	649	661	580	521	595	599	584	547	547	585	7,210
	平均介護度	2.03	2.03	1.97	2.00	1.99	2.09	2.19	2.23	2.19	2.11	2.05	2.07	2.08
	平均利用人数/1日	25.46	25.19	25.96	24.48	22.31	20.84	22.04	23.04	23.36	21.88	21.88	22.50	23.24
要支援	利用実人数	12	11	12	12	13	17	18	19	18	18	16	16	152
	利用延べ人数	88	84	78	89	87	99	117	119	112	109	101	104	1,187
	平均利用人数/1日	3.4	3.11	3.12	3.30	3.35	3.96	4.33	4.58	4.48	4.36	4.04	4.00	3.37
総計	利用延べ人数	750	764	727	750	667	620	712	718	696	660	648	689	8,401
	平均利用人数/1日	28.85	28.30	29.08	27.78	25.65	24.80	26.37	27.62	27.84	26.40	25.92	26.50	27.09
	稼働率	82.4%	80.8%	83.1%	79.4%	73.3%	70.9%	75.3%	78.9%	79.5%	75.4%	74.1%	75.7%	77.40%

居宅介護支援事業所															
項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	目標
介護支援専門員数		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	
要介護	介護 利用人数	113	106	111	110	115	112	115	107	107	104	95	97	107.7	100
	介護 稼働率	80.7%	75.7%	79.3%	78.6%	82.1%	80.0%	82.1%	76.4%	76.4%	74.3%	67.9%	69.3%	76.9%	
要支援	予防 利用人数	26	27	26	26	25	25	26	29	31	29	25	25	26.7	22
	予防 稼働率	81.3%	84.4%	81.3%	81.3%	78.1%	78.1%	81.3%	90.6%	96.9%	90.6%	78.1%	78.1%	83.33%	
総計	介護+予防 利用人数	139	133	137	136	140	137	141	136	138	133	120	122	134.3	122
	介護+予防 稼働率	80.8%	77.3%	79.7%	79.1%	81.4%	79.7%	82.0%	79.1%	80.2%	77.3%	69.8%	70.9%	78.10%	
新規利用人数		2	2	4	4	7	6	1	1	7	4	1	1	40.0	
訪問調査件数		6	6	6	6	6	7	6	6	6	6	6	4	71.0	4
営業訪問先		2	4	3	2	3	2	3	2	2	3	5	0	31.0	

訪問介護														
項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
要介護	利用実人数	12	12	10	11	14	14	14	14	13	9	9	13	12.1
	利用延べ訪問件数	282	316	288	311	295	349	375	336	303	227	232	266	3,580
	平均介護度	2.3	2.2	2.0	2.0	2.0	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2	2.3	2.3	2.2
...	利用実人数	9	8	9	7	6	5	0	5	6	8	6	8	6.4
	利用延べ件数	9	8	9	7	6	5	6	5	6	8	6	7	82
障害	実人数	1	1	1	1	1	0	0	0	2	2	1	1	0.9
	訪問回数	17	17	16	17	18	0	0	0	27	21	17	17	167
総計	実人数	22	21	20	19	21	19	14	19	21	19	16	22	19.4
移動支援	実人数	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1.3
	移動支援延べ件数	2	2	5	3	1	2	1	3	1	1	1	1	23

2019年度(令和元年度)  
ガリラヤ久米 事業報告

〔事業の種類〕

- |                                       |               |
|---------------------------------------|---------------|
| I. 小規模特別養護老人ホーム(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護) | 定員 29 名       |
| II. ショートステイ(〔介護予防〕短期入所生活介護)           | 定員 10 名       |
| III. グループホーム(〔介護予防〕認知症対応型共同生活介護)      | 定員 18 名       |
| IV. 介護付有料老人ホーム(〔介護予防〕特定施設入居者生活介護)     | 定員 35 名(30 室) |
| V. デイサービス(地域密着型通所介護)                  | 定員 18 名       |
| VI. デイサービス(介護予防通所サービス)                |               |
| VII. 居宅介護支援事業所(居宅介護支援)                |               |

1.ガリラヤ久米(全体)

取組事項	取組内容
命と尊厳を守り安心して生活できる施設づくり	<p>① スタッフの基礎介護力を高め、専門職が連携し、統一したケアの提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 内部研修(基礎介護研修)開催 [全 18 回]</li> <li>■ 運営委員会の開催 [全 12 回 ※毎月]</li> <li>■ 朝礼(全体)の開催 [月～土]</li> </ul> <p>② 利用者の人権、プライバシーの保護と共に、虐待防止・身体拘束廃止の徹底。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 身体拘束・虐待防止委員会開催 [全 12 回 ※毎月]</li> <li>■ 内部研修(拘束虐待防止)開催 [全 1 回]※コロナウイルス感染予防のため 2 回目は開催中止</li> </ul> <p>③ インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症予防の徹底(集団発生 0 件目標に対し発症 9 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 衛生管理委員会開催 [全 12 回 ※毎月]</li> <li>■ 内部研修(感染症)開催 [全 1 回]※コロナウイルス感染予防のため 2 回目は開催中止</li> </ul>
在宅生活の支援	<p>① 地域関係機関と連携し、地域の福祉ニーズを捉えて地域包括ケアを推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域包括支援センターとの連携[各種会議・研修参加]</li> </ul> <p>② 職員の地域活動推進(必要なニーズの調査、支援可能な体制の調整)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高齢クラブへの参加 [本村あやめ会]</li> </ul> <p>③ 在宅生活をトータル的にサポートするために、在宅版総合記録シートを導入した在宅部門の連携。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 未実施</li> </ul>
広報活動の充実	<p>① ホームページ・SNS による積極的な情報の配信、施設見学の受入と関係事業所への営業活動。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ホームページ・SNS(Twitter・Facebook)の定期更新の実施。Google ストリートビューの活用。</li> <li>■ 施設見学受入対応 [毎日(予約含む)]</li> </ul> <p>② 地域住民参加イベント企画・ボランティア活動の受入など計画的に実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出張喫茶の受入[なかよし村]</li> <li>■ ボランティア活動受入[久米中学校、どれみ保育園、高齢クラブ、民間団体等]</li> </ul>
やりがいを感じ働きやすい職場づくり	<p>① ガリラヤ久米スタッフ心得の徹底と、職員育成の推進</p> <p>② 福祉の専門職として各事業所・部署間のチームワーク体制の強化、連携を密にとれる環境づくり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 内部研修(職員会)開催 [全 3 回]</li> <li>■ ストレスチェックの実施(8 月)NPO ころも塾との従業員支援事業委託の締結</li> <li>■ 人事考課・面談の実施(6 月 11 月)</li> </ul>



	<p>■ 第4回ガリラヤ実践事例発表会(2月)</p>
安定運営の確保	<p>① 事業所毎の目標数値設定とコスト(ムリ・ムラ・ムダのない)管理。</p> <p>② 施設運営に関わる財務・組織・事業管理における基盤の整備を図る。</p> <p>■ 運営委員会での実績確認及び検討〔全12回〕</p> <p>■ 運営会議(ガリラヤ荘:部課長会議)での検討〔全12回〕</p>

2. I. 小規模特別養護老人ホーム(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

2-1 入所者の状況(令和2年3月31日現在)

【入所・退所状況】

待機者数(令和2年3月末現在 34名)

入 所			退 所		
男	女	計	男	女	計
1	7	8	2	5	7

【年齢構成】

	男	女	全体
入所者数	6	23	29
平均年齢	88.2	86.6	86.9
最高齢	95	102	-
最年少	82	69	-

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
1	0	0	0
2	0	0	0
3	0	3	3
4	1	10	11
5	5	10	15
平均	4.8	4.3	29

2-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延日数
4月	1	12
5月	2	26
6月	3	13
7月	3	16
8月	0	0
9月	2	34
10月	3	33

【入院疾患別人数(延人数)】

	実人数	延日数
11月	3	34
12月	3	28
1月	4	40
2月	2	21
3月	3	37
合計	29	294
月平均	2.4	24.5

【医療管理状況】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	13	7
心疾患	0	4
脳梗塞	1	3
尿路感染	1	1
腸閉塞	2	3
骨折	1	0
食欲不振	0	3
肝機能低下	0	2
腎機能低下	0	0
その他	0	4
合計	18	27

医療行為	今年度	前年度
胃ろう	3	2
在宅酸素療法	0	1
人工肛門	0	0
尿道留置カテーテル	1	1
インシュリン注射	0	0
痰の吸引(常時)	0	0
合計	4	5

※緊急搬送回数 1回 (前年度 0回)

### 2-3 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	<p>《全部門》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」を活用したケアの実践。</li> <li>■ 多職種協同による「状態確認(ダブルチェック)」と「ケアの方法検討(カンファレンス)」の実践</li> <li>■ シフトマニュアル(オペレーションシート)の活用。平常時の統一した業務内容の明確化を図り、入所者及びユニットの状況変化に応じた体制づくり。</li> <li>■ ケアスタッフと看護師との連携による重度化対応。</li> </ul>
イベント企画	<p>《全部門》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ イベント開催 4月(散歩(桜)) 5月(若葉昼食会)(鯉のぼりドライブ) 6月(あじさいドライブ) 7月(七夕づくり)(そうめん流し) 8月(夏祭り)(すいか割り) 9月(芋炊き) 10月(お月見だんごづくり)(コスモドライブ) 11月(紅葉ドライブ)(クリスマス飾りづくり) 12月(クリスマス会)(忘年会) 1月(新年会)(カラオケ大会) 2月(バレンタイン手作り喫茶)(節分豆まき) 3月(菜の花ドライブ)</li> </ul>
環境整備	<p>《全部門》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居室担当制・備品整備・環境美化推進</li> </ul>
研修運営	<p>《全部門》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 年間計画に基づく各種研修の開催 4月(新人研修)5月(リスクマネジメント)6月(食中毒)7月(メンタルヘルス)8月(リフト)9月(口腔ケア)(交通安全)10月(リフト)(看取り)11月(感染症)(ストレスフォローアップ)12月(法令順守)(接遇)1月(リスクマネジメント)</li> <li>■ 基礎介護勉強会の開催 5月(認知症ケア)6月(食事ケア)8月(排泄ケア)10月(移乗ケア)12月(入浴ケア)</li> </ul>

### 2-4 運営推進会議の状況 ※)グループホームと合同開催

開催日等	内容
第1回 令和元年5月24日 14:00～14:40 出席者 9名 職員 6名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等 ④ 芋の苗植え見学
第2回 令和元年7月31日 14:00～15:10 出席者 7名 職員 6名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等 ④ 水分補給、食中毒にかかる施設の取り組み
第3回 令和元年9月26日 14:00～15:10 出席者 9名 職員 8名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等 ④ リフト操作説明
第4回 令和元年12月8日 14:00～15:30 出席者 7名 職員 8名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等 ④ 干し柿作り見学

#### 《総評》

目標稼働率96%に対し96.9%。総延べ入院(外泊)日数302日。

H31・R1年度については、開設後2年が経過し、3年目を迎える年度として、各取組を実施した。開設時からのスタッフが定着しつつある中、基本的なケアを丁寧に実践することを意識し、効果的な多職種連携の統一を目指してきた。入所者の状況については、平均要介護度4.36(年度末)となり、身体的・精神的に重度化が更に進む中、健康管理と丁寧なケアに基づく穏やかな暮らしの提供ができるよう、各研修の実施を通して、学びを深めた。また暮らしの中における楽しみや生きがいを目的として各イベントについても、月単位での企画に加え、新たなイベントを試みつつ実施することができた。重度の利用者の暮らしを支える事業所として、更に入所者一人ひとりの暮らし、日々のかかわりの大切さを感じ、次年度に向けてさらに、よりよりケアができるよう目指したい。

### 3.Ⅱ.ショートステイ(〔介護予防〕短期入所生活介護)

#### 3-1 利用状況(令和2年3月31日現在)

##### 【利用状況】

延べ人数	男	女	計
予防短期通所	0	65	65
短期通所	1008	1917	2925
合計	1008	1982	2990
平均利用者数	2.8	5.2	8.0

実人数	男	女	計
石井・浮穴・久谷	2	2	4
小野・久米	2	13	15
桑原・道後	4	6	10

生石・味生	0	1	1
味酒・清水	1	2	3
雄郡・新玉	1	2	3
垣生・余土	0	1	1
東・拓南	1	6	7
三津浜	0	1	1
内子	0	1	1
東温市	1	2	3
久万高原町	1	1	2
松前町	0	0	0
砥部町	1	1	2
合計	14	39	51

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
要支援 1	0	0	0
要支援 2	0	59	59
要介護 1	545	799	1344
2	234	697	931
3	382	1114	1496
4	442	3543	3985
5	2006	3453	5459
平均	3.9	3.8	3.9

《総評》

目標稼働率 80.0%に対し 82.2%。一日の平均利用者 8.2 名

在宅利用者のニーズに応えられるよう、ご家族、ケアマネジャーとの連携、情報共有に努めながら、在宅生活が継続できるようサービス提供を行うことができた。10 床のため、利用日程の調整が希望に沿えないことや新規利用者や緊急的な利用受入調整については課題を残すが、利用中のイベント、アクティビティなどのサービス内容を充実させることができた。

4.Ⅲ.グループホーム（〔介護予防〕認知症対応型共同生活介護）

4.-1 入居者の状況(令和 2 年 3 月 31 日現在)

【入居・退居状況】

待機者数(令和 2 年 3 月末現在 19 名)

入 所			退 所		
男	女	計	男	女	計
0	4	4	0	4	4

【年齢構成】

	男	女	全体
入居者数	5	13	18
平均年齢	84.6	89.8	88.4
最高齢	89	98	98
最年少	73	86	73

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
1	0	3	3
2	3	3	6
3	2	6	8
4	0	0	0
5	0	1	1
平均	2.4	2.46	2.44

4.-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延日数
4月	1	25
5月	3	49
6月	3	66
7月	1	28
8月	1	18
9月	2	26
10月	1	9

	実人数	延日数
11月	1	33
12月	3	32
1月	2	41
2月	0	0
3月	1	7
合計	19	334
月平均	1.5	27.8

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	7	1
心疾患	1	1
脳梗塞	2	1
腎機能低下	0	1
骨折	2	1
その他	9	3
合計	21	8

※緊急搬送回数 0回 (前年度 0回)

4.-3 ケアの状況<重点目標>

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	<全部門> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」を活用したケアの実践。</li> <li>■ シフトマニュアル(オペレーションシート)の作成。平常時の統一した業務内容の明確化を図り、入所者及びユニットの状況変化に応じた体制づくり。</li> <li>■ ケアスタッフと看護師との連携による重度化対応。</li> </ul>
イベント企画	<全部門> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ イベント開催 4月(花見ドライブ) 5月(カラオケ大会、こいのぼりづくり) 6月(あじさいドライブ) 7月(七夕飾りづくり、そうめん流し) 8月(夏祭り、花火鑑賞) 9月(コスモドライブ) 10月(運動会) 11月(菊見物) 12月(忘年会、クリスマス会) 1月(初詣、新年茶会) 2月(豆まき) 3月(ひなまつり)</li> </ul>
環境整備	<全部門> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居室担当制・備品整備・環境美化推進</li> </ul>
研修運営	<全部門> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 年間計画に基づく各種研修の開催</li> <li>■ 基礎介護勉強会の開催</li> </ul>

4.-4 運営推進会議の状況 ※)小規模特別養護老人ホームと合同開催

開催日等	内容
第1回 令和元年5月24日 14:00~14:40 出席者 9名 職員 6名	⑤ 活動状況報告 ⑥ 活動状況に関する評価 ⑦ 要望、助言等 ⑧ 芋の苗植え見学
第2回 令和元年7月31日 14:00~15:10 出席者 7名 職員 6名	⑤ 活動状況報告 ⑥ 活動状況に関する評価 ⑦ 要望、助言等 ⑧ 水分補給、食中毒にかかる施設の取り組み
第3回 令和元年9月26日 14:00~15:10 出席者 9名 職員 8名	⑤ 活動状況報告 ⑥ 活動状況に関する評価 ⑦ 要望、助言等 ⑧ リフト操作説明
第4回 令和元年12月8日 14:00~15:30 出席者 7名 職員 8名	⑤ 活動状況報告 ⑥ 活動状況に関する評価 ⑦ 要望、助言等 ⑧ 干し柿作り見学

<<総評>>

目標稼働率97%に対し94.8%。総延べ入院(外泊)日数345日。

H31年度については、開設後2年の実績を確認する年度として、各取組を実施した。新規採用スタッフが多い中、基本的なケアを丁寧に実践することを意識し、効果的な多職種連携の統一を目指してきた。入所者の状況については、平均要介護度2.4(年度末)

と軽度な方中心であるが、平均年齢 88.4 歳と高齢であり、健康管理と丁寧なケアの実践を通して、重度化予防に努めてきた。また暮らしの中での楽しみや生きがいづくりとして、日々の活動やイベント企画を実践できた。個別外出や家族会の実施などの新しい取り組みも行った。今後は個別支援を充実できるよう、家族の協力も得られる働きかけに工夫し、その人らしい暮らしの提供を目指したい。また重度化対応や看取りについても、適切な対応ができるようスタッフの知識・技術の向上に努めていきたい。

#### 5.IV.介護付有料老人ホーム((介護予防)特定施設入居者生活介護)

##### 5.-1 入居者の状況(令和2年3月31日現在)

###### 【入居・退居状況】

待機者数(令和2年3月31日現在 単身25名 夫婦4組 計33名)

出身地 保険者	保険者別入居者数			令和元年度中の移動状況					
				入居			退居		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
松山市	6	13	19	2	4	6	1	3	4
東温市	0	5	5	0	0	0	0	0	0
砥部町	0	1	1	0	0	0	0	0	0
伊予市	0	1	1	0	0	0	0	0	0
西条市	2	1	3	0	0	0	0	0	0
新居浜市	1	0	1	0	0	0	0	0	0
宇和島市	0	1	1	0	0	0	0	0	0
松前町	1	0	1	0	0	0	0	0	0
福津市	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	10	22	32	2	4	6	1	4	5

###### 【年齢構成】

	男	女	全体
入所者数	10	22	32
平均年齢	91.8	89.3	90.1
最高齢	98	98	98
最年少	88	74	74

###### 【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
自立	0	0	0
要支援1	1	2	3
要支援2	2	4	6
要介護1	4	5	9
2	1	4	5
3	0	4	4
4	1	2	3
5	1	1	2
平均	1.62	1.84	1.77

5.-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延日数
4月	3	40
5月	3	58
6月	5	56
7月	3	42
8月	0	0
9月	1	14
10月	1	28

	実人数	延日数
11月	2	27
12月	0	0
1月	1	7
2月	2	45
3月	2	41
合計	23	29.8
月平均	1.91	29.8

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	1	4
心疾患	2	8
尿路感染	1	0
骨折	1	3
貧血	1	0
脳出血	0	1
その他(癌含)	8	8
合計	14	24

【医療管理状況】

医療行為	今年度	前年度
胃ろう	0	0
在宅酸素療法	2	2
人工肛門	1	1
尿道留置カテーテル	1	1
インスリン注射	1	1
痰の吸引(常時)	0	0
合計	2	2

緊急搬送回数 0回 (前年度 1回)

5.-3 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	<p>《全部門》</p> <p>食事・排泄・口腔のケアに重点をおき、丁寧なケアに努め、誤嚥性肺炎、尿路感染症予防を行った。</p> <p>BPSDの悪化につながる、身体の問題を見極めながら根拠あるケアを実践した。</p>
イベント企画	<p>《全部門》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ イベント開催 4月(お花見弁当:屋上) 5月(こいのぼりを見に行こう:除ケの堰堤)(釣り) 6月(あじさい見に行こう:花き研究指導室) 7月(スイカ割り)(そうめん流し) 8月(ふれあい広場:盆踊り大会)(松山ねたきりになられん)(久米中職場体験) 9月(しあわせの集い:国際ホテル)(敬老会)(森松観月祭花火鑑賞:屋上) 10月(芋炊き)(ミニ運動会)(神輿・獅子舞)(コスモドライブ)(ガリラヤ荘運動会) 11月(ていれぎ祭り)(ガリラヤ感謝祭)(石丸しげ子書道展)(菊の花を見に行こう:はばたき園) 12月(忘年会)(クリスマス会)(お餅つき大会) 1月(初詣:椿神社)(新年会) 2月(七折梅まつり)(節分:豆まき)(バレンタイン) 3月(ひな祭り)(菜の花まつり、運営懇談会は新型コロナ感染拡大予防のため中止)</li> <li>■ 散歩(毎日)、誕生会・散歩表彰式(毎月)、音楽クラブ(毎月、12月から中止)、なかよし村(4・5・6・7・9・11・12・1月)、喫茶サロンベリーベリー(毎月)、カラオケ(毎月)</li> <li>■ ボランティア受入(講談&amp;シャンソン:中田・松岡様、トリオ G&amp;B)</li> </ul>



環境整備	<<全部門>> ■ 居室担当制・備品整備 ■ 大掃除(エアコン・窓)6・12月
研修運営	<<全部門>> ■ 年間計画に基づく各種研修の開催 4月(新人研修)5月(リスクマネジメント)6月(食中毒)7月(メンタルヘルス)8月(リフト)9月(口腔ケア)(交通安全)10月(リフト)(看取り)11月(感染症)(ストレスフォローアップ)12月(法令順守)(接遇)1月(リスクマネジメント) ■ 基礎介護勉強会の開催 5月(認知症ケア)6月(食事ケア)8月(排泄ケア)10月(移乗ケア)12月(入浴ケア)

<<総評>>

H31R1 目標稼働率 88%に対し実績 88.5% 総延入院日数 358 日(外泊は除く)

R2.3.31 平均要介護度 1.77

全体的には看取りや重度の方の対応、介護度が軽度の方の精神面のフォローなど介護職、看護師は多種多様な技術や知識、観察力、コミュニケーション能力を求められるようになってきた。

今後も健康管理と丁寧なケアを行い多職種が連携することで、日々の変化を早期発見できるように努めていきたい。

新型コロナウイルスの影響もあり外出行事の見合わせが続いているが、施設内でも生活の中に生きがいや季節を感じていただけるように企画し、入居者、ご家族にも安心していただけるようなケアを今後も目指していきたい。

6. V. デイサービス(地域密着型通所介護)

VI. デイサービス(介護予防通所サービス)

6-1 利用者の状況(令和2年3月31日現在)

【利用状況】稼働日数 310日

延べ人数	男	女	計
地域密着通所	361	2194	2555
介護予防通所	180	588	768
	541	2782	3323
平均利用者数	1.7	9.0	10.7

登録者人数	男	女	計
石井・久谷	2	9(11)	11(13)
小野・久米	5	16(18)	21(23)
桑原・道後	0	2	2
城西勝山	0	1	1
東拓南	1	1(1)	2(2)
合計	8	29(33)	37(41)

※)( )…中止者を含む

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
事業対象	0	0	0
要支援 1	77	267	344
要支援 2	103	316	419
要介護 1	285	1267	1552
2	53	513	566
3	23	131	154
4	0	288	288
5	0	0	0
平均	1.3	1.5	1.4

6.-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
個別ケアの実施	<p>①基本的な生活動作及び体力測定を実施し情報の共有を行い、きめ細かなサービス提供を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 体力測定を実施し、結果の報告(家族及びケアマネジャー)</li> <li>■ 体力測定結果や起居動作の状況に合わせた、マシントレーニングの見直し</li> </ul> <p>②HOL (happiness of life)の提供を目指して、レクリエーション等アクティビティの充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 参加型レクリエーション</li> </ul> <p>③マシントレーニング、レッドコードを含む個別機能訓練を充実させ、利用者の在宅生活継続と身体レベルの維持向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利用者の状態・状況に合わせたマシントレーニング等のメニューの設定</li> <li>■ トレーニング成果の報告(見える化)による継続の働きかけ</li> </ul>
地域との交流	<p>①地域と連携し、地域包括ケアの促進を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域連絡会への参加</li> </ul> <p>②ボランティアの受入れや地域(保育園・学校等)、家族が参加出来るレクリエーション実施し交流を増やす。</p> <p>③地域との交流を行い、地域の行事等へ積極的に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 久米中学校職場体験受入れ。どれみ保育園園児との交流活動の実施</li> <li>■ 秋祭り(神輿・獅子舞)施設訪問参加</li> </ul>
職員研修	<p>①地域等の研修への参加、及び事業所内での勉強会の充実を図る。</p> <p>②施設内・外研修に参加し、基礎介護とサービスの質の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市主催の説明会への参加</li> <li>■ 年間計画に基づく各種研修の開催 4月(新人研修)5月(リスクマネジメント)6月(食中毒)(接遇)(法令順守)7月(メンタルヘルス)8月(排泄ケア)(身体拘束)(排泄)9月(交通安全)(口腔ケア)10月(移乗)11月(ストレスチェックフォローアップ)(感染症)12月(入浴)(法令順守)(接遇)1月(リスクマネジメント)2月(看取り)中止3月(身体拘束)</li> </ul>
安定運営の確保	<p>①長期入院や他サービスとの併用による利用率の状況を把握し、介護支援専門員と連携をとりながら調整を行う。</p> <p>②下半期からの利用定員変更(18名※3名増員)に向け整備を行う。</p>

	<p>■R1年9月より利用定員変更(15名→18名)</p> <p>③安定した運営のために、管理及びコスト意識を持つ。</p>
--	---

6.-3 運営推進会議の状況

開催日等	内容
第1回 令和1年9月26日 13:30~14:00 出席者 5名 職員 2名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等 ④ 利用定員の変更 ⑤ 食事代の変更 ⑥ 介護職員等特定処遇改善加算の追加

6.-4 その他の状況

内容		備考
苦情解決件数	0件	
事故報告件数	5件	転倒3件 送迎中の人身事故1件 体調不良により緊急搬送 1件
ヒヤリハット件数	2件	

《総評》

新規利用者獲得、また継続のため各事業所への定期的な情報発信・情報共有を積極的に行い、体験者・新規利用者獲得を実施することができた。また利用開始後は、利用者の運動機能を把握するために、体力測定を定期的を実施し、意欲向上につながる報告への工夫や継続してトレーニングできる環境づくりに努めることができた。コロナウイルス感染予防の為のお休みが増えている現状ではあるが、利用再開された方やお休みをされている方にもフォローを実施し、安心して利用できるデイサービスを提供していきたいと思う。今後も地域への情報発信を続けながら、楽しさや元気につながるサービスの実践に努めていきたい。

7. VII.居宅介護支援事業所(居宅介護支援)

7.-1 利用者の状況(令和2年3月31日現在)

【利用状況】 居宅サービス担当月間人数 予防 19件 介護 34件

利用者	予防		介護	
	男	女	男	女
小野・久米	3	8	3	16
石井・浮穴・久谷	0	1	0	3
桑原・道後	0	1	0	2
東・拓南	0	0	0	2
雄郡・新玉	0	1	0	0
味酒・清水	0	1	0	0
生石・味生	0	1	0	0
東温市	0	3	0	3

伊予市	0	0	0	1
西条市	0	0	0	1
新居浜市	0	0	0	1
松前町	0	0	0	1
久万高原町	0	0	1	0
計	3	16	4	30
	19		34	

【要介護度別利用人数】

要介護度	男	女	計
要支援 1	1	8	9
要支援 2	2	8	10
要介護 1	1	19	20
2	1	8	9
3	2	1	3
4	0	2	2
5	0	0	0
計	7	46	53

7-2 ケアの状況〈重点目標〉

取組事項	取組内容の振り返り
在宅生活の維持	<p>① アセスメント表の活用が不十分では総合的なケアの視点が養われた。</p> <p>② 総合事業を理解し、住民主体で生きがいや役割をもった生活が送れるようマネジメントを行う。</p> <p>③ 地域包括支援センター等が主催する勉強会や地域活動の情報を収集ができたが、社会資源を取り入れプランに取り込む等マッチングが不十分であった。</p>
資質向上	<p>① 事業所内・外の研修に参加し、基礎介護やマネジメント等の在宅生活に必要な知識向上を目指すことができた。</p> <p>② 総合支援事業に円滑に移行できるよう情報収集は行ったが、特に、総合事業への意向の要望等がなく、あまり発展していない状態である。</p>
地域活動への参加	<p>① 勉強会や研修会等の市内関係機関の活動へ積極的に参加し、地域包括ケアの促進を図る。</p> <p>② 地域サロンの活動の支援・交流を行い、地域の実情を把握するとともに、施設の周知を行うであった。地域サロンは不活発な状態であるが、民生委員とのグループワークに参加し意見交換ができた。公民館活動への参加を行うことができ施設の周知を行うことができた。</p>

7-3 その他の状況

内容		備考
苦情解決件数	0件	
事故報告件数	0件	

《総評》

平成 31 年 3 月に 1 名退職し、1 名での対応であったが 7 月より増員でき、通常の 2 名になった。包括等の勉強会への参加や地域連携を考える会のメンバーとして意見交換や機関誌発行に携わった。

利用者増加に努め、病院連携室への挨拶回りや勧誘等を行った。また、他事業所の職員退職に伴う居宅の依頼があり、利用人数も徐々に増えている。軽度の方の施設入所や、病気による入院など、短期間でのサービス提供で終了してしまう事例も多くある。

新規相談の分析では、知り合いからの紹介、包括支援センターからの依頼、病院連携室からの依頼の順である。適切なケアが提供でき、在宅生活の継続が行われるようマネジメント技術を向上させるとともに、今後も、病院連携室周り等、事業所の周知と利用者増加に努めたい。

8.各部門報告(委員会活動を含む)

8-1 防災・防犯活動

訓練項目	開催日時	参加者	内容
普通救命講習(I)	令和元年 6 月 12 日 9:00～12:00	職員	講師:松山南消防署東部支署 救急業務担当(1名) 心肺蘇生法、AED使用方法についての実技、訓練など
消防訓練 ・火災	令和元年 9 月 25 日 10:00～11:00	利用者、職員	松山市南消防署東部支署職員来荘し打合せ実施。 入居者、利用者、職員全員参加にて、1F リネン庫の火災想定した避難訓練を実施、屋外にて消火訓練を実施した。合わせて、屋内にて火災表示機、通報装置、屋内消火栓などの操作・使用方法を消防署より説明及び、訓練講評を受けた。
松山市総合防災訓練 (福祉避難所開設訓練)	令和元年 11 月 10 日 10:00～12:00	職員	松山市の総合防災訓練に福祉避難所の開設訓練として参加する。 福祉避難所開設準備(資機材搬送) 要配慮者の受入及び対応(模擬要配慮者搬送及び受入) 福祉避難所運営
総合訓練 (シェイクアウトえひめ参加) ・地震・火災・水害	令和元年 12 月 17 日 11:00～12:30	利用者、職員	消火器、散水栓の設置場所、使用方法の確認 床上浸水を想定した入居者の避難誘導と物資の移動(確認)の訓練 中予地区老人福祉施設協議会会員施設の災害発生伝達訓練の参加
夜間通報訓練 ・夜間災害	令和元年 12 月 17 日 20:00～20:30	職員	夜間火災想定での通報及び非常招集訓練の実施

8.-2 感染症対策

- ① 衛生管理委員会の開催(毎月)
- ② 職員研修の実施

○感染症について

実施月	内 容	参加者	参加率	備 考
6 月	食中毒	47 名	66%	食中毒の基礎知識・予防対策について
11 月	インフルエンザ ノロウイルス	57 名	81%	インフルエンザ・ノロウイルスの基礎知識と予防について

○メンタルヘルスについて

実施月	内 容	参加者	参加率	備 考
7 月	セルフケア	24 名	35%	ストレスマネジメントについて研修を実施
8 月	ストレスチェック	68 名	100%	全職員に対してストレスチェックを実施
11 月	ストレスチェック フォローアップ	25 名	36%	ストレスチェックをもとにフォローアップ研修の実施
11 月	新人職員面談	2 名	-	こころ塾担当者の面談指導

朝礼や定期的な委員会内において、感染症の動向について情報提供、注意喚起を行うことができた。感染症の研修については、内容は昨年と大きく変わらないが、常に必要な研修であり、今後もできる限り研修に参加できるよう参加率アップのための対策を検討していきたい。メンタルヘルスについては、ワールドカフェは初めての試みであったが、普段同じ施設内であり面識のない職員同士の交流もでき、概ね好評であった。ストレスチェックにおいて、高ストレス者が数名いたが、声かけと勤務体制の変更などで対応でき、受診までには至らなかった。新人職員の面談については、仕事内容・職場の人間関係・私生活等について大きな問題はなく、人材育成について問題ないとの評価であった。

③ 感染症報告

<インフルエンザ>

11 月より、職員・利用者に対する予防接種を開始し、ほぼ100%実施できた。

感染については、12 月にパート職員 1 名がインフルエンザ A 型に罹患したが、感染予防対策を継続し、以降職員・利用者の感染は認めなかった。

	利用者					職員				
	GH	特養	SS	有料	他	GH	特養	SS	有料	他
A 型	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
B 型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

※GH(グループホーム) SS(短期入所)

<その他>

施設内でのノロウイルスなどの感染は認めなかったが、ウイルス性腸炎については職員や家族が罹患するケースが数例あったが、早期の受診対応などにより、職場内での感染には至らなかった。

今年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大がみられている。当施設においても、日本・県内での感染状況を確認しながら、2 月末より臨時の衛生管理委員会を開催(2/26 2/27 3/2 3/5 3/12 3/20 3/27)し、国・県からの通達やマニュアルに沿って施設での対応を検討し、感染予防対策を実施した。

#### <まとめ>

今年度は施設内でのインフルエンザ発症を予防することができたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、今後は施設内での感染リスクが高まっている。現時点では施設関係者の発症は認めていないが、引き続き国や県の方針を受けながら必要時衛生管理委員会を開催し、情報を共有し感染予防対策の継続に努めていきたい。

#### 8.-3 褥瘡対策

##### ① 褥瘡対策委員会の開催(毎月)

毎月入居者の褥瘡発生予備軍を抽出し対応を検討している。

表皮剥離などステージが軽い時期に早期の対応を行うことで、重症化することなく治癒できている。また、個人の肌質にあった保湿に努めながら、症状改善に至らない場合は皮膚科への相談、受診を行っている。

#### 8.-4 権利擁護・苦情解決

##### ① 権利擁護苦情相談委員会の開催(随時)※令和元年 11 月 18 日(ガリラヤ荘合同)

平成 31 年度苦情件数 0 件

※意見箱(玄関) 0 件

#### 8.-5 身体拘束・高齢者虐待対策

##### ① 身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会の開催(毎月)

身体拘束件数 0 件 高齢者虐待件数 0 件

毎月委員会を開催し、日常のケアの中において、不適切ケアや行動を制限する目的で実施された行為がないかを確認した。また、事例に対しても検討を行い、スタッフの感覚麻痺(連続性の錯覚)が生じない環境作り、職員の意識づけを行った。

#### 8.-6 栄養対策

##### ① 給食委員会の開催(毎月)

施設長、各事業所職員、多職種、委託業者が給食内容・衛生管理・栄養管理等について協議し、改善及び向上を図った。一人ひとりの身体状態や嗜好を考慮した個別対応を行い、季節感のある食材や行事食を取り入れ、利用者により一層満足していただける食事提供に努めていきたい。

#### 8.-7 事故対策

##### ① 安全委員会の開催(毎月)

委員会内においてヒヤリハットや事故の事例検討を行いながら、ケア方法の見直しや環境整備の配慮に努めた。入所・入居者の状態・状況が事業所によって異なる中、それぞれにおいて重点的に注意すべきことに変化があり、今後も事例検討を重ねながら、重大事故を未然に防げるように努めたい。

今年度は、全職員に安全標語を募集し、集まった標語の中から各事業所でポスターを作成した。作成したポスターは、コピーし各事業所に配布し張り出す予定。この活動も、事故を未然に防ぐことにつながってほしい。

② 事故・ヒヤリハット報告

今年度について、それぞれの集計結果を報告する。

なお、事故報告は昨年度途中から集計方法を変更しており、ヒヤリハットを除く、全ての事故報告を集計している。

I 月別発生件数(事業所別)

月	グループホーム	小規模特養	短期入所	介護付有料	計
4月	7	17	5	13	42
5月	9	22	4	9	44
6月	12	26	2	12	52
7月	7	25	4	6	42
8月	5	25	4	16	50
9月	9	16	5	6	36
10月	11	15	7	7	40
11月	6	10	9	9	34
12月	7	15	3	11	36
1月	12	18	5	19	54
2月	10	9	2	8	29
3月	3	16	1	6	26
総計	98	214	51	122	485

II 内容別発生件数

	件数
転倒※1)	110
転落※2)	50
内出血	168
服薬ミス	52
他※3)	15
傷	17
在宅酸素ミス	1
対人トラブル	1
表皮剥離	47
離脱	7
食事提供ミス	3
異食	13
誤嚥	1
総計	485

※1) 立上りや歩行での転倒

※2) 車椅子、椅子、ベッドなどからのしりもち、座り込みを含む

※3) 原因が特定されない軽症や事故危険があったものを含む



Ⅲ報告レベルの内訳

I	未遂以外の事故(怪我なし) バイタル異常・看護師の処置	464
II	病院受診(異常なし)	10
III	病院受診(怪我あり)(再受診必要)	6
IV	病院受診(入院加療が必要)	5
V	後遺症が残るあるいは死亡	0
総計		485

「ヒヤリハット件数」

	件数
転倒(未遂)	99
転落(未遂)	21
服薬ミス(未遂)	16
食事提供ミス(未遂)	0
異食(未遂)	6
在宅酸素ミス(未遂)	2
対人トラブル(未遂)	1
誤嚥(未遂)	0
胃チューブ抜去(未遂)	0
設備・環境の不具合	1
他	34
総計	180

事業所別	転倒 (未遂)	転落 (未遂)	服薬 (未遂)	食事提供 ミス(未遂)	異食 (未遂)	在宅酸素 ミス(未遂)	対人トラブ ル(未遂)
小規模特養	7	3	2	0	3	0	0
ショートステイ	3	3	0	0	0	0	0
グループホーム	57	8	12	0	3	0	1
介護付有料	32	7	2	0	0	2	0
総計	99	21	16	0	6	2	1

事業所別	誤嚥 (未遂)	胃チューブ 抜去(未遂)	設備環境 の不具合	他	計
小規模特養	0	0	0	12	27
ショートステイ	0	0	0	5	11
グループホーム	0	0	1	8	90
介護付有料	0	0	0	9	52
総計	0	0	1	34	180

IV受診及び市事故報告提出の内訳

事業所	内容	受診	市報告		
グループホーム	5/29 転倒	5/29	5/29	右側頭部打撲	異常なし
グループホーム	6/9 転倒	6/10	6/10	右大腿骨頸部骨折	入院
小規模特養	6/13 転倒		6/13	異常なし	異常なし
小規模特養	6/13 他		6/14	右肋骨骨折	経過観察
グループホーム	7/8 転倒	7/9	7/10	左大腿骨頸部骨折	入院
ショートステイ	7/19 転倒		7/19	右大腿骨頸部骨折	入院
小規模特養	7/31 転倒		8/1	左後頭部内出血	異常なし
小規模特養	8/9 転落		8/10	額 5 針縫合	異常なし
グループホーム	8/21 転倒	8/21	8/22	頭部打撲	異常なし
グループホーム	9/1 転倒	9/2	9/3	左腰打撲	異常なし
小規模特養	9/6 転落		9/6	臀部打撲	異常なし
ショートステイ	9/18 転倒		9/18	両膝内出血、左頭頂部 2 か所たんこぶ、左前腕剥離	異常なし
グループホーム	9/19 転倒	9/19	9/19	肋骨骨折	入院
介護付有料	9/20 服薬ミス	-	9/20	異常なし	異常なし
グループホーム	9/21 転倒	9/22	9/23	臀部打撲	異常なし
ショートステイ	9/23 転倒		9/23	左頭頂部打撲	異常なし
グループホーム	10/16 転倒	10/19	10/24	臀部内出血	異常なし
ショートステイ	11/1 転倒		11/1	頭部1針縫合、胸部内出血	異常なし
グループホーム	12/10 転倒	12/12	12/13	胸骨骨折	経過観察
ショートステイ	12/21 傷		-	脱肛部より出血多量	異常なし
介護付有料	1/25 転倒	1/25	1/27	左大腿骨転子部骨折	入院
グループホーム	2/17 転倒	2/18	2/19	右上腕骨近位端骨折	経過観察

※)管轄の松山市については、介護事故報告は受診したものの全てについて提出指示

※)事業所判断で、受診はしていないが、報告した内容を含む(原因不明による怪我、服薬ミスなど)

	受診件数	市報告件数
グループホーム	10	10
小規模特養	5	5
ショートステイ	5	4
介護付有料	1	2
総計	21	21

(考察)

昨年度、介護保険課より事故報告区分とヒヤリハット区分の見直しについて、指示を受けそれに準じて集計を行った。その為、件数としては昨年度よりも大幅に増加している。重大事故発生に努めきたが、全体的に転倒・転落による受診が多く、特にグループホーム、介護付有料においては独歩者の発生に注意が必要であった。転倒から骨折・入院につながるケースも多く、今後の課題と考える。次年度に向けては、ヒヤリハットの対策及び、重大事故につながるケースの再確認の徹底に努めていきたい。

9.行事・施設内研修・実習等受入の状況

	全体行事等	各事業所行事	実習等受入
4	入職式 建物1年点検	[特]花見散歩 [GH]花見 [有]花見	
5	消防設備点検 町内清掃(久米地区) 運営推進会議	[特・有・GH]釣り外出 [特]こいのぼり見物 [GH]こいのぼり見物 [GH]カラオケ大会 [GH]芋の苗植え [有]こいのぼり見物	松山東中学校見学実習 河原医療大学校看護科
6	職員会 夏期人事考課 救命講習	[特]あじさい見物 [GH]あじさい見物 [GH]ミニ運動会 [有]あじさい見物 [有]なかよし村まつり	河原医療大学校看護科
7	運営推進会議	[特]そうめん流し [GH]そうめん流し [GH]セラピードッグ派遣 [有]そうめん流し	河原医療大学校看護科
8	北窪田地区夏祭り 松山まつり野球拳おどり大会(ねたきりになら連) 入居者レントゲン検査 東温市観月祭花火鑑賞	[特]すいか割り [GH]夏まつり	嘉南薬理大学(台湾)(ガリラヤ荘実習生1日体験) 聖カタリナ大学(在宅看護実習に係る教員研修) 聖カタリナ大学(ガリラヤ荘実習生1日体験) 久米中学校職場体験学習
9	職員会 運営推進会議 防災訓練	[特]コスモス見物 [GH]敬老会 [GH]敬老の日似顔絵見物 [GH]セラピードッグ派遣 [GH]コスモス見物 [GH]外部評価 [有]しあわせの集い [有]敬老会 [有]森松観月祭花火鑑賞	潮見地区社会福祉協議会視察研修
10	秋祭り神輿展示 秋祭り(神輿・獅子舞)訪問 ガリラヤ荘運動会	[特]コスモス見物 [GH]コスモス見物 [有]コスモス見物 [有]ミニ運動会	聖カタリナ大学(在宅看護論実習)

11	ガリラヤ荘感謝祭 防災総合訓練(松山市総合防災訓練) 消防設備点検 館内床ワックス施工 職員互助会合同親睦会	[特]真光園バザー [特]紅葉見物 [特]クリスマス飾りづくり [GH]菊見物 [GH]紅葉見物 [有]ていれぎ祭り [有]菊見物	社会福祉法人慈光会施設見学 社会福祉法人双星会施設見学 久米中学校職場体験学習 窪田小学校総合学習訪問 聖カタリナ大学(在宅看護論実習)
12	職員会 冬期人事考課 クリスマス会 忘年会 餅つき 防災訓練(シェイクアウトえひめ) 夜間緊急時通報訓練 介護情報サービス公表調査 運営推進会議	[特]カラオケ大会 [特・GH]干し柿作り [GH]やきいも作り	
1	新年会	[特]セラピードッグ派遣 [GH]初詣外出(西林寺) [有]初詣外出(椿神社)	聖カタリナ大学(在宅看護論実習)
2	ガリラヤ実践事例発表会	[GH]節分豆まき [有]梅見物	聖カタリナ大学(在宅看護論実習)
3		[特]菜の花見物	聖カタリナ大学(在宅看護論実習)
他	<b>通年</b>		<b>委員会活動</b>
	各事業所での誕生日会(昼食会) 各事業所でのイベント食(昼食会) おやつ・お茶の時間 レクリエーション(散歩・体操・音楽・風船バレーなど) 訪問理美容(3か所) 訪問マッサージ(随時) 訪問歯科診療(随時) 医師の回診 嘱託医2名 訪問販売(とくし丸、パン)		運営委員会 安全(事故防止)委員会 衛生管理委員会 身体拘束廃止委員会 高齢者虐待防止委員会 給食委員会 権利擁護・苦情相談委員会 入所判定委員会 各事業所スタッフ会議
	<b>ボランティア等</b>		
	[個人:定期] 篠崎様(絵手紙)	[団体:定期] 喫茶:サロンベリーベリー 喫茶:なかよし村	[個人:随時] 岡田様(オカリナ) 塩見様(読み聞かせ) 中田・松岡様(講談&シャンソン)

				三津教会(訪問) 久米地区民生委員(訪問) 愛媛大学落語研究会(落語・大喜利) トリオ G&B
--	--	--	--	--

## 10.施設内、施設外研修の状況

### 【施設内研修】

	研修名	参加人数
4	新人職員研修会	12名
5	リスクマネジメント勉強会 基礎介護勉強会(認知症)	30名 21名
6	衛生管理:食中毒 基礎介護勉強会(食事) 職員会(接遇・法令順守) 普通救命講習(Ⅰ)	47名 17名 31名 21名
7	メンタルヘルス研修(こころ塾)	24名
8	リフト操作勉強会 基礎介護勉強会(排泄) 身体拘束虐待防止勉強会	13名 49名 32名
9	口腔ケア勉強会 職員会(感染症・交通安全)	32名 27名
10	リフト操作勉強会 基礎介護勉強会(移乗) 看取り介護勉強会	15名 34名 48名

11	衛生管理:感染症防止勉強会 ストレスチェックフォローアップ研修	57名 22名
12	基礎介護勉強会(入浴) 職員会(接遇・法令順守) 消防訓練	37名 29名 150名
1	リスクマネジメント勉強会	25名
2	看取り介護勉強会 防犯研修	コロナウイルス感 染予防の為中止
3	身体拘束・虐待防止勉強会	コロナウイルス感 染予防の為回覧 による実施

### 【施設外研修】

研修項目	全体		GH		小規模特養/SS		介護付有料	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
介護	2	2	8	8	16	18	10	10
看護・保健・医療			1	1	2	2	3	3
防災・防犯			1	1				
人材育成・マネジメント	3	3	1	1			1	1
専門(スキル向上・資格等)			7	7	8	8	5	5
行政(介護保険・制度他)								
財務会計	3	3						
人事・労務管理	1	1						
他	6	6	3	3	1	1	1	1
小計	15	15	21	21	27	29	20	20

研修項目	デイサービス		居宅介護支援		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数計	人数計
介護					36	38
看護・保健・医療			2	2	8	8
防災・防犯					1	1
人材育成・マネジメント					5	5
専門(スキル向上・資格等)	2	2	10	16	32	38
行政(介護保険・制度他)						
財務会計					3	3
人事・労務管理	1	1	2	2	4	4
他	2	2	7	10	20	23
小計	5	5	21	30	109	120

#### 11.職員の状況

部門等	前年度末	令和1年度当初				令和1年度中の状況			令和1年度末	常勤換算 (年度末雇用契約)
		退職 (H31.3. 31付)	入職 (H31.4. 1付)	異動 (H31.4. 1付)	職員計	入職	異動	退職		
グループホーム	15	0	0	0	15	0	0	0	15	14
特養/短期	35	3	2	0	34	12	1	-7	40	34.4
（介護職）	20	2	1	0	19	10	0	-4	25	22.9
（看護職）	3	0	1	0	4	0	0	-1	3	2.9
（その他）	12	1	0	0	11	2	1	-2	12	8.6
介護付有料	16	2	4	0	18	3	-1	-1	19	15.9
（介護職）	12	2	3	0	13	2	0	-1	14	11.6
（看護職）	2	0	1	0	3	0	-1	0	2	2
（その他）	2	0	0	0	2	1	0	0	3	2.3
デイサービス	8	0	0	0	8	3	1	-4	8	6.4
居宅	2	1	0	0	1	1	0	0	2	2
法人本部	2	0	2	0	4	1	-1	0	4	4
計	78	6	8	0	80	20	0	12	88	76.7

※ 育児休業者(2名)は常勤換算には含めず

医師等嘱託契約者の数は上記に含めず

【医師2名、歯科衛生士1名、作業療法士2名(デイ/特養/介護付有料)】

12.サービス別 利用状況一覧

小規模特別養護老人ホーム		定員29名・3ユニット (ユニット定員10名 ※1ユニットのみ9名)												
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
総計	平均要介護	4.19	4.22	4.31	4.3	4.38	4.42	4.47	4.41	4.43	4.44	4.42	4.4	4.36
	延べ利用人数	858	870	854	883	899	833	863	828	871	855	814	862	10,290
	平均利用人数/1日	28.60	28.06	28.47	28.48	29.00	27.77	27.84	27.60	28.10	27.58	28.07	27.81	28.11
	稼働率	98.6%	96.8%	98.2%	98.2%	100.0%	95.7%	96.0%	95.2%	96.9%	95.1%	96.8%	95.9%	96.9%
ショートステイ		定員10名・1ユニット (ユニット定員10名)												
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
要介護	利用実人数	16	16	15	16	16	15	20	19	20	19	21	21	17.8
	利用延べ人数計	223	205	240	282	272	242	229	254	252	251	235	240	2,925
	平均要介護	1.56	1.61	2.02	2.04	1.91	1.98	2.15	1.88	2.07	2.23	2.46	2.29	2.01
	平均利用人数/1日	7.43	6.61	8.00	9.10	8.77	8.07	7.39	8.47	8.13	8.10	8.10	7.74	7.99
要支援	利用実人数	2	3	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0.7
	利用延べ人数計	34	21	2	0	0	2	0	6	0	0	0	0	65
	平均要介護	0.4	0.4	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
	平均利用人数/1日	1.1	0.7	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
総計	平均要介護	1.56	1.61	2.02	2.04	1.91	1.98	2.15	1.88	2.07	2.23	2.46	2.29	2.01
	延べ利用人数	257	226	242	282	272	244	229	260	252	251	235	240	2,990
	平均利用人数/1日	8.57	7.29	8.07	9.10	8.77	8.13	7.39	8.67	8.13	8.10	8.10	7.74	8.17
	稼働率	85.7%	72.9%	80.7%	91.0%	87.7%	81.3%	73.9%	86.7%	81.3%	81.0%	81.0%	77.4%	81.7%

グループホーム		定員18名・2ユニット (ユニット定員9名)												
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
総計	平均要介護	2.45	2.5	2.44	2.42	2.4	2.4	2.44	2.67	2.61	2.64	2.68	2.66	2.53
	延べ利用人数	516	509	472	530	539	512	544	506	523	510	509	551	6,221
	平均利用人数/1日	17.20	16.42	15.73	17.10	17.39	17.07	17.55	16.87	16.87	16.45	17.55	17.77	17.00
	稼働率	95.6%	91.2%	87.4%	95.0%	96.6%	94.8%	97.5%	93.7%	93.7%	91.4%	97.5%	98.7%	94.4%

介護付有料老人ホーム		定員35名・30室 (うち2人部屋5室)												
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	
総計	平均要介護	1.41	1.44	1.53	1.49	1.51	1.59	1.58	1.55	1.64	1.62	1.63	1.62	1.55
	延べ利用人数	892	879	895	955	983	945	961	917	1011	1015	913	969	11,335
	平均利用人数/1日	29.73	28.35	29.83	30.81	31.71	31.50	31.00	30.57	32.61	32.74	31.48	31.26	30.97
	稼働率	85.0%	81.0%	85.2%	88.0%	90.6%	90.0%	88.6%	87.3%	93.2%	93.5%	90.0%	89.3%	88.5%

デイサービス		利用定員15名												
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	26	27	25	27	27	25	27	26	26	27	25	26	314	
要介護	利用実人数	23	25	24	23	22	22	22	23	21	20	20	22.3	
	利用延べ人数計	230	243	223	209	224	225	225	207	205	196	181	2,560	
	平均要介護	1.56	1.61	2.02	2.04	1.91	1.98	2.15	1.88	2.07	2.23	2.46	2.29	2.01
	平均利用人数/1日	8.85	9.00	8.92	7.74	8.30	9.00	8.33	7.96	7.88	7.26	7.24	7.38	8.15
要支援	利用実人数	12	13	14	14	14	13	14	12	13	13	14	13.25	
	利用延べ人数計	54	61	61	66	62	68	70	56	68	67	64	763	
	平均要介護	0.4	0.4	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	
	平均利用人数/1日	2.1	2.3	2.4	2.4	2.3	2.7	2.6	2.2	2.6	2.5	2.6	2.5	2.4
総計	平均要介護	1.56	1.61	2.02	2.04	1.91	1.98	2.15	1.88	2.07	2.23	2.46	2.29	2.01
	延べ利用人数	284	304	284	275	286	293	295	263	273	263	245	258	3,323
	平均利用人数/1日	10.92	11.26	11.36	10.19	10.59	11.72	10.93	10.12	10.50	9.74	9.80	9.92	10.58
	稼働率	72.8%	75.1%	75.7%	67.9%	70.6%	78.1%	72.8%	67.4%	70.0%	64.9%	65.3%	66.2%	70.6%

居宅介護支援事業所													
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
介護支援専門員数	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1.75
総計	介護 利用人数	21	20	19	23	22	23	25	26	26	25	32	24.7
	介護 稼働率	30.0%	28.6%	27.1%	32.9%	31.4%	32.9%	35.7%	37.1%	37.1%	35.7%	45.7%	35.2%
総計	予防 利用人数	14	17	16	16	16	17	19	18	17	19	18	17.2
	予防 稼働率	87.5%	106.3%	100.0%	100.0%	100.0%	106.3%	118.8%	112.5%	106.3%	118.8%	112.5%	118.8%
総計	介護・予防 利用人数	35	37	35	39	38	40	44	44	43	44	50	41.8
	介護・予防 稼働率	40.7%	43.0%	40.7%	45.3%	44.2%	46.5%	51.2%	51.2%	50.0%	51.2%	58.1%	48.6%
新規利用人数	2	1	1	3	5	1	7	2	0	5	6	4	3.1
営業訪問先	5	10	6	13	10	10	8	9	6	6	7	6	8.0